福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	88 福祉用具・住宅改修支援事業	
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課	所属長 荒賀 正之
会計情報	事業コード 420588 款 03 地域支援事業費 項 02 包括支援・任意事業費	目 02 任意事業費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する	
計画期間	開始年度 平成30年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画	1名 第8次福知山市高齢者保健福祉計画
根拠法令等	介護保険法	·
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □	内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業	を統合
関連事業		
事業基礎	情報	
事業目的 (あるべき姿)	利用者のニーズや個人の心身の状態に適したサービスを提供する行い適正な給付を図る。	るため、福祉用具の購入・貸与、住宅改修の支給にあたり、専門職による助言等
対象者	在宅の要介護(要支援)認定者	対象者数 3,600 単位あたりコスト 0.1
実施方法	□ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 ☑ 補助金	全交付 口 その他 ()
委託先·実施主体等	福知山市民病院	
事業概要 (箇条書き)	総合的な住環境整備の観点から理学療法士等が同行し助言等を行	・購入、貸与及び住宅改修を利用するにあたり、専門職の助言を希望する場合、行う。 旧者のニーズや個人の心身の状態に適したサービス提供をするにあたり、専門
	支出に係る主な費目 支出実績(R2)	主な業務内容

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	()	R	4(要求年)	度)
	1	当初予算			816			816			408			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T A		6 0.2
,	小計	+(① ~ ③)			816			816			408		ቑ編成時 3次公表⊞	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	<i>-</i> //	7 P
算	2	国支出金			314			314			157			
財源	3	府支出金			157			157			79			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			345			345			172			
決	1	流充用額			0		二次?	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			816			816			0			0
惰報	3	執行額			17		二次:	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			2.1%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04	/	0.00	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		320				240			240			0
		アルコスト 京額+概算人件費)			337			240			240			0

二次公表時記載

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)	助言等による	工事実施件数	%	0/48	1	/	1	0	/	48	/	0
実績/目標	(/	0	/	0		/	0	/	0
	指 標		単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	同行訪問利用	件数	件	0/48	1	/	48	0	/	48	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		17.0						
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、 妻 耒 担 当 所 禹 内による目 巳 st 評価の観点	評価	評価の理由
7 1	A. 1	RI IIM	利用者の個々の生活実態やニーズ、心身の状態に則した効果的な住宅改修を行うことによ
	·市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		り、自立した日常生活を営むことができるよう助言を必要とするものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		地域支援事業の任意事業として実施しており、事業の財源には介護保険法で定める割合で介護保険料が充当される。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		自宅で安心して生活するために、不自由に感じている箇所を自身の身体機能に則した助言
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		を受けることで適切な住宅改修や福祉用具を導入することが可能となる。併せて理学療法 士等の専門的知識により適切なサービスの提供につながり、給付費の適正化を図ることが
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	できる。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	専門職(理学療法士等)からの助言等が必 身の状態に適したサービスの提供につなけ		援専門員への支援を行うことにより、資質の向上につながるとともに、利用者のニーズや心 きる。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
			マネジメントの資質向上は介護保険事業の適正な運営にもつながるものであり、利用者に適し 美所に対して引き続き周知を図り、実施していく。
	令和3年度については、第9次高齢者保健者		
これまでの課題及び			
今後の方向性			
l Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価	f)	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- /	
事後評価コメント		事第	詳価実施後に記載(対象事業のみ)
	<u> </u> えた次年度事業方針		
111 -1 Jun 5 13 1 8	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
七水細で			
担当課の 事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
UⅢ 予算反映系	と果		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事术商压													
事業名	81 生活支	援·介護予	坊サー	ービス基盤整備	⋕事業								
事業担当	所属	15030000	福祉的	保健部 高齢	者福祉課				所属县	長 荒賀 正之	<u>-</u>		
会計情報	事業コード	420581	款 03	3 地域支援事業	費 項 02 包括支	を援・任意事業費	目	01 包括・継続ケア事業費	会計	15 介護保険	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	050501	施領	策名 高齢者	の生きがいを	創出する							
計画期間	開始年度	平成29年	度	終了予定年度	令和2年度	関連計画	名	第8次福知山市高齢者	作保健福	祉計画			
根拠法令等	介護保険	法											
事業区分	□ 法定受	託事務	Ø	国府補助事業	□ 市単独	由事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃」	上/休.	止 口他引	事業へ統合	□ 他事業	を約	充合					
関連事業	地域介護	予防活動支	援事第	業									
事業基礎	情報			·									
	高齢化が	進展するなれ	か、住	み慣れた地域	ばで自分らしい	生活を続け	てじ	くため住民どうしの支	えあいσ)体制づくり(生	活支援体制)を	上構築する。	
	要支援1・	2の軽度者	向けも	ナービスが地は	或支援事業に	移行する中:	C. 1	生活支援や介護予防サ	トービス	の基盤整備を	行うために地域	の資源開発や	5

尹耒を従り	有報								
事業目的 (あるべき姿)	高齢化が進展するなか、1 要支援1・2の軽度者向け サービス・支援の担い手を る。	サービスが地域支	援事業に	移行する中で	S、生活支援 ³	や介護予防サービス(D基盤整備を行うため	つに地域の資源開発	発や
対象者	市内高齢者				対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指:	定管理	□ 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	地域協議体、日新地域包	括支援センター							
事業概要 (箇条書き)	-各日常生活圏域に地域 地域の課題やニーズ、資 ・地域のささえあいサービ 支援を行った。 ・地域のささえあいサービ	源の把握を行い、 スの開始のため地	主民へ情感域の協議	報提供したり、 養体にコーディ	関係機関とネーターが参	も有を行った。 画し、制度を構築する	るための情報提供や		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)				主な業務内	容		
主な支出に係る 業務内容と経費				=	次公表時記	己載			

Ⅲ 予算執行状況

	Z	3 分	R1(評価前4	年度)	R2	2(評価年度)		R	3(本年度)	R4	(要求年)	変)
	1	当初予算		16,078			15,537			15,658			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情報	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	₩	- 455 c+ 11± 1	B-1 -2
	小計	†(①~ ③)		16,078			15,537		15,658			編成時 次公表E	記人 非)
予	1	一般財源		0			0			0	,,,		*/
	2	国支出金		6,190			5,982			6,028			
算財源	3	府支出金		3,095			2,990			3,014			
内	4	地方債		0			0	3,01					
訳	(5)	その他特財		6,793			6,565			6,616			
決	1	流充用額		0		二次公司	表時記載			0			0
算	2	配当予算		16,078			15,537			0			0
情 報	3	執行額		7,498		二次公司	表時記載			0			0
THX	4			46.6%		二次公司	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28 /	0.70	0.30	/	0.55	0.30 / 0.55			0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	3,990				3,775	3,775		3,775			0
		タルコスト 京額+概算人件費)		11,488			3,775			3,775			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	支え合いサー	ビス提供地域	地域	0/2	0	/	2	0	/	3	/	4	9
実績/目標	サービス検討	地域	地域	4/3	5	/	6	5	/	7	/	7	9
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	生活支援コー	ディネーター	人	2/1	2	/	2	2	/	2	/	2	2
(アウトプット)		単位あたり	コスト	582.5		3748.9							
実績/計画	地域支援コーディネーター設置		地域	0/2	8	/	9	11	/	9	/	9	9
		単位あたり	コスト	0.0		937.2							

	事業担当所属内による自己評		State of the state
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	0	団塊の世代が全員後期高齢者となる2025年が目前に迫り、今後支援が必要な高齢者が増加していくことが予想され、介護需要はより一層増加していくことが見込まれる。一方、介護人材不足は深刻な状況にあり、例えばヘルパー人材はその約半数が60代以上の高齢者であるなど、支援が必要な高齢者が増加していく現状に反し、支援する側の人材が減少していく。このような現状から、地域住民によるささえあいの取組は非常に重要なものとなっており、地域資源や担い手の発掘、住民主体によるサービス創出支援等が必要である。
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	0	住民が主体的にささえあいの仕組みづくりを行っていく活動に対して十分な取組支援・財政支援を行っていく必要があるが、住民と協働して新しい取組を推進していく必要があるため、一定の時間は必要となる。しかし、将来的に地域で持続可能な取り組みとしていくためには、補助金に頼らない制度構築も併せて考えていく必要がある。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	0	現在はささえあいの体制づくり及びサービス構築に向けて、徐々に取組検討を行う地域が増加してきている。それに併せて、市やコーディネーターも必要に応じて地域の検討の場に出向き、取り組み支援を行っている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	り夜久野地区、平成29年度より惇明地区、R けて検討会議が開かれてきた。検討会議に	ば仁地区、 ^፯ は市担当者	の総会等に出席し、支え合いの仕組みづくりについての啓発を実施してきた。平成27年度よ F成30年度より大江地区、令和元年度より三和地区において、支え合いの仕組みづくりに向 f及び令和元年度より配置されたコーディネーターが出席し、取り組み支援を行っている。 民主体のささえあいのサービスが提供開始される。また、他2地域でも令和3年度中にサービ
これまでの課題及び 今後の方向性	なった。現在は徐々に地域活動が再開されたことも考えられるため、どのように地域と協働	たことから、 カを続けてい 始した地域 組を推進し	tが徐々に増加してきているが、全市的に取り組みを広げていけるよう、新たに配置された ていく。
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)
Ⅷ 予算反映網			
予算反映結果	□現状維持 □廃止/休止	□ 予;	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 77 安心生活見守り事業

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之	
会計情報	事業コード 420577 款 03 地域支援事業費 項 02 包括支援・任意事業費 目 02 任意事業費 会計 15 介護保険 決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する	
計画期間	開始年度 平成24年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名	
根拠法令等	福知山市安心生活見守り事業実施要綱	
事業区分	□ 法定受託事務 🗹 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗆 内部庶務的事業 🗆 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合	
関連事業		
	- 青報	
事業目的 (あるべき姿)	在宅で生活している一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に属する人などを対象に、コールセンターを利用して急病、事故等の緊急時におけ報や日常生活における相談に対する助言等を行うために通報装置を貸与し安心・安全な生活を支援する。	ける通
対象者	要介護1以上の認定を持つ者で、以下のいずれかの要件を満たす方①高齢者 世帯②65歳以上の一人暮らし③高齢者と障害者世帯 対象者数 3,800 単位あたりコスト 0.2	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会	
事業概要 (箇条書き)	緊急時にボタンを押すと固定電話回線を通じて福知山市社会福祉協議会の安心見守りセンターに連絡が入り、本センターからの要請で消防 救急車の依頼や近隣協力者に安否確認の対応をお願いするシステムである。また、365日午前9時から午後5時において、日常生活におけ 康・介護・福祉の相談と助言を行っている。なお、平成30年度から、新たに利用者の見守りを行い、安否確認をより決め細やかに行うものであ	る健
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容	
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載	

Ⅲ 予算執行状況

	Z	了 昇		呼価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	₹3(本年度	!)	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			23,092			22,071			22,581			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T A		6 0.7
,	小計	h(1)~(3)			23,092			22,071			22,581		[編成時 3次公表[
予	1	一般財源			0			0			0		~~~~	.47
算	2	国支出金			8,890			8,497			8,694			
算財源	3	府支出金			4,445			4,249			4,347			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			9,757			9,325			9,540			
*	1	流充用額			△ 226		二次公	公表時記載			0			0
決算		配当予算			22,866			22,071			0			0
情報	3	執行額			21,800		二次公	公表時記載			0			0
TIA.		執行率			95.3%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		960				800			800			0
		アルコスト 可額+概算人件費)			22,760			800			800			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	相談通報件数		件	380/240	260	/	240	273	/	240	/	240	240
実績/目標	緊急通報件数		件	348/600	260	/	600	224	/	600	/	600	600
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	制度利用者		人	974/1000	860	/	1000	769	/	1000	/	1000	1000
(アウトプット)		単位あたり	コスト	23.1		25.3							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

V 一次評価((事業担当所属内による自己部	™(価)										
項目	評価の観点	評価	評価の理由									
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	Δ	一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方の不安に対応するために必要な事業であるが、 民間で類似サービスやIoT機器を利用した形態の見守りサービスなどが実施されているため、対象者の設定や必要な見守り形態についての検討が必要である。									
	優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたり		対象者が限定されるため、受益者が限られる一方で、コールセンターの運営費は固定費と して必要な人件費があり、削減が難しい。また、民間のサービスが多様化している中、課税									
効 率 性	コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	Δ	世帯の方は民間サービスの利用を促すなど、対象者要件についても検討か必要であると考える。									
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか											
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		成果目標および活動目標については、本事業の特性から数値で捉えるのは難しく、評価がしにくい。									
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ										
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	L 7 L ./	VI A DA DA TOPOLO ALLO ALLO ATOMOSTO AND A TOPOLO A TOPOLO AND A TOPOLO AND A TOPOLO A TOPOLO A									
	対象者が住み慣れた地域で安心して生活するとに寄与している。 	るために										
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価												
これまでの課題及び 今後の方向性	 ・近隣協力者を見つけることが困難になって ・在宅高齢者の見守りについて、行政が実 ある。 		が出てきている。 としてどういった形が良いのか、R3年度はIoT機器の試験導入も行いながら検討する予定で									
· Ⅵ 二次評価(<u> </u> 事業所属外による他部署評価	j)										
事後評価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)									
VII 評価をふま	えた次年度事業方針											
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容									
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	予算編成に記入 (3次公表時)											
VⅢ 予算反映紀												

□ 予算拡充

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

□ 廃止/休止

□ 現状維持

□ 他事業を統合 (統合事業名:

予算反映結果

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

71 在宅高齢者配食サービス事業

事業属性事業名

(単位:千円)

争来担当	所属 15030000 福利	性保健部 高虧石儀	1 位		PIT	馬長 荒貫 止之	<u>-</u>		
会計情報	事業コード 420571 款	03 地域支援事業費	項 02 包括支援・任意事業費	目 02 任意事	業費 会	計 15 介護保険	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード 050502 旅	施策名 高齢者の生	E活を支援する						
計画期間	開始年度 平成9年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	名					
根拠法令等	福知山市在宅高齢者配食	まサービス事業実施	返 要綱						
事業区分	□ 法定受託事務 ☑	国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/億	木止 □ 他事業	へ統合 口 他事業	を統合					
関連事業									
事業基礎	 青報								
事業目的 (あるべき姿)	食事の支度が困難でありまた手渡しで配達すること						または栄養改	善を図る。	
対象者	食事の準備が困難な在宅	高齢者		対象者数	5,000	単位あたり	Jコスト	0.2	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 口指定	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	ふくし事業協同組合・社会		**						
事業概要 (箇条書き)	食事の支度が困難でありまた配達の際には、利用 毎日(日曜から土曜日)の 弁当代432円は自己負担	者の安否確認をし)昼・夕の2食の配負	見守り活動も行っていく		己達する。				
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業	務内容			

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)		R3(本年度	E)	R	4(要求年	度)	
	1	当初予算			18,179			18,458			19,179				
予	2	補正予算			0			4,639			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0		~ A= -b -c-	.	
,	小計	h(1)~(3)			18,179			23,097			19,179		[編成時 3次公表[
₹	1	一般財源			0			0			0	0			
	2	国支出金			6,999			8,609			7,384	34			
算財源	3	府支出金			3,499			4,304			3,692				
内	4	地方債			0			0			0				
泥	⑤	その他特財			7,681			10,184			8,103				
決	1	流充用額			△ 1,714		二次	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			16,465			23,097			0			0	
情報	3	執行額			16,465		二次公	公表時記載			0			0	
ŦX		執行率			100.0%		二次公	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00	0.12	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費	_	960				960			960			0	
		マルコスト デ額+概算人件費)			17,425			960			960			0	

二次公表時記載

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	利用者数		人	288/272	320	/	272	351	/	272	/	272	272
実績/目標	利用率(利用者	肾/対象者)	%	4.8/4.5	5.3	/	4.5	7	/	4.5	/	45	4.5
	指標		単位	H30	R1			R2		R3		最終目標	
活動実績	のべ配食数		件	91500/83570	100000	/	83570	111510	/	83570	/	83570	83570
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.2		0.2							
実績/計画			/	0	/	0		/	0	/		0	
		単位あたり	コスト	0.0			•						

「項		目 81 m(→ 来担当所属内による目に 評価の観点	評価	評価の理由
-30			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	HIIM	高齢者の安否確認、食の確保に一定の成果はある。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		収入の多寡に関係なく、65歳以上で一定の要件を満たしていれば、、誰でも利用できるところから、受益者負担、コスト削減の観点から対象者の見直しは必要であると考える。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	Δ	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		古業のは姓んこむ田よ数はルナスのは田耕でもス
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		事業の特性から成果を数値化するのは困難である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 高齢者の食の確保・安否確認として在宅		PEL 71.7
			高齢者の良の帷保・女台帷認として仕も 	:生 活 又拨Ⅰ=奇	うしている。
事業の 指標等の					
対する	定性的	内評価			
			京松老の金の佐田 ウ玉体部について	日間北 133	の状況を踏まえて検討していく必要がある。また、利用要件についても収入要件を設けるなど
			真に必要な方へのサービスとなるよう検		
これまで					
今後	の方に	可性			
VI 2	二次	評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	平価コ	メント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
				4-50	SHI IMPOUNDED - HO THE VELOCITY
VII à	评価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見 及び	直し			予算編成に記入
予算	要求	方針			(3次公表時)
VIII	予算	反映約	告果		
予算	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之												
会計情報	事業コード 420559 款	03 地域支援事業費 項 0	1 介護予防·生活支援	目 01 介護予防	f·生活支援 会計 1	5 介護保険 決算付	属資料 頁						
施策体系	施策コード 050502 施	5 策名 高齢者の生活を	支援する										
計画期間	開始年度 平成29年度	終了予定年度 令和2:	年度 関連計画名	第8次高齢	者保健福祉計画								
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	□ 法定受託事務 ☑	国府補助事業 口 ī	市単独事業 □ □	内部庶務的事	業 口 その他 ()						
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/位	木止 □ 他事業へ統	合 口 他事業を	·統合									
関連事業													
	青報												
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中で、 サービスの充実を図るとと					者が増加している。在	宅福祉サービス、施設						
対象者	要支援認定者等			対象者数	1,300	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定管理	里 口 補助金多	を付 口	その他 ()						
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	京都府国民健康保険団体【単価】令和元年度 62円					料を支払う。							
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	ş-							
主な支出に係る 業務内容と経費			=:	欠公表時記	載								

<u> </u>	2	了 昇		価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	3(本年度	E)	R4(要求年度)				
		当初予算	,,,,		488			488			461					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0	0 461 予算編成時記入				
,	小計	·(①~③)			488			488			461	プリ (t	₽幅以時 次公表	記人 侍)		
予	1	一般財源			0			0			0	,,	·	.47		
第	2	国支出金			113			97			92					
算財源	3	府支出金			61			61			57					
内	4	地方債			0			0			0					
訳	(5)	その他特財			314			330			312					
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0		
算		配当予算			488			488			0			0		
情報	3	執行額			444			公表時記載			0			0		
TIA.		執行率			91.1%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/模託職員)	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		80				80			80			0		
		アルコスト			524			80			80			0		

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0		/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	審査件数	_	件	0	7167	/	_	7350	/	0	/	0
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.1						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目で 評価の観点	は 評価	評価の理由
74 1			
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		の請求事務は国保連合会経由で行うこととなっており、必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	٥ ا	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		審査支払手数料については、国民健康保険団体連合会にて定められているため、市独自の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		人就可以自然也可由现象不要要《学校》在《生物》在《生物》在《生物》
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	11=	介護予防・日常生活支援総合事業の運営主体は市町村とされており、サービス事業所から の請求内容の審査事務を国保連合会で実施するものであり、必要不可欠なものである。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
		行っている。その	・日常生活支援総合事業は必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健)介護予防・日常生活支援総合事業に係る審査支払手数料は、適正な介護保険給付費算定
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
			活支援総合事業に係る費用の増加が見込まれる。 サービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護予防・日常生活支援総合
これまでの課題及び	令和3年度については、第9次高齢者は	保健福祉計画に基	きづき事業を実施していく。
今後の方向性			
 VI 二次評価	 (事業所属外による他部署詞	評価)	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		, , ,	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		, i
=	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映:	 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了并以吹和米	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート - **属性

(単位:千円)

事業名	6 介護支援専門員研修事業												
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課		所属長 荒賀 正之										
会計情報	事業コード 420556 款 03 地域支援事業費 項 02 包括支援	援·任意事業費 目 01 包括・継続ケア事業費	会計 15 介護保険 決算付属資料 頁										
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援す	する											
計画期間	開始年度 平成18年度 終了予定年度 令和2年度	関連計画名 第8次高齢者保健福祉	上計画										
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独	事業 🛘 内部庶務的事業 🗘 その	D他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合	□ 他事業を統合											
関連事業													
	青報												
事業目的 (あるべき姿)	市内の介護保険事業所に勤務する介護支援専門員に対マネジメントの資質の向上を図るとともに、適正な介護保		立支援に資する知識、技術を習得することによりケア										
対象者	市内介護保険事業所に勤務する介護支援専門員	対象者数 15	50 単位あたりコスト 16.5										
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理	□ 補助金交付 □ その他	()										
委託先•実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	介護支援専門員とは、要介護者や要支援者からの相談けられるよう、ケアプランの作成や市町村、サービス事業アシステムの理解促進や自立支援に資する知識の修得【事業内容及び実績】・1回目テーマ「高齢者の支援として自然災害に備えてで・2回目テーマ「生活困窮者への理解と支援を学ぶ」(R3.	業者等との連絡調整等を行うものであ のために研修を行う。 きること」(R2.12.24実施)参加者46	り、適切なサービスの提供を行うために、地域包括ケ										
	支出に係る主な費目 支出実績(R2)	主	な業務内容										

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	E)	R4	(要求年)	麦)									
	1	当初予算			150			100			100												
予	2	補正予算			0			0			0												
算情報	3	繰越予算			0			0			0												
報		前年度繰越			0			0															
		次年度繰越			0			0			0	To hi											
,	小計	h(①~③)			150			100			100	ア 男 (3	「編成時 次公表	記人 ま)									
予	1	一般財源			0			0			0	,,	~~~	*/									
算	2	国支出金			57			39			38												
財源	3	府支出金			29			19															
内	4	地方債			0			0			0												
訳	⑤	その他特財		64			64				42			43									
決	1	流充用額	0			0			0			0				二次:	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			150			100			0			0									
惰報	3	執行額			0		二次:	公表時記載			0			0									
HX.		執行率			0.0%		二次?	公表時記載															
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10	/	0.30	0.20	/	0.35	0.20	/	0.35	0.00	/	0.00									
工算	2	概算人件費		1,550				2,475			2,475			0									
		マルコスト 「額+概算人件費)	1,550					2,475	2,47					0									

二次公表時記載

77 78 75 75	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	実施回数		回	3/3	0	/	3	1	/	2	/	3	0
実績/目標	アンケート評価	(5段階)	点	4.3/3.5	0	/	3.5		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	参加者数		人	130/180	0	/	180	45	/	120	/		0
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0									
実績/計画	開催回数		回	3/3	0	/	3	1	/	2	/	3	0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、	評価	評価の理由
-X H	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	W1 11-4	
	事業か		ていくためには、研修は有効な手段であり、今後も実施していく必要性がある。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		コストの大半は講師謝礼であり実施内容に適した講師選定に務めている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		研修時に実施するアンケートにおける参加者の意見や制度改正等その時々に必要なケア
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		研修時に美施9るアンケードにおける参加者の息見や制度改正等での時代に必要なケアマネジメントに関わる知識習得・質の向上につながるようなテーマ選定に努め、実施している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			- ステムの理解促進や自立支援に資する知識の習得に応じたテーマを選定し、研修を実施する D開催が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となったため、今後新たな実施方法
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていく/	とめに、介護	支援専門員、医療・介護事業者と連携し個々の高齢者の状況や変化に応じて支援していくこ
これまでの課題及び 今後の方向性	とが重要であり、地域における連携・協働 正も踏まえ有効な研修等の機会を設けて 令和3年度については、第9次高齢者保健	いきたい。	や個々の介護支援専門員に対する支援が求められており、今後も職能団体の意見や制度改基づき事業を実施していく。
· Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評価コメント		事第	関係の表現を表現である。 関係では、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、これでは、「では、これでは、「では、これでは、これでは、これでは、「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
──VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映線	·		
	□現状維持□廃止/休止	□予	- 算拡充 □ 予算縮減 □ □ 予算縮減 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

(単位:千円)

alla 1	
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之
会計情報	事業コード 420553 款 02 保険給付費 項 01 保険給付費 目 01 介護サービス等諸費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する
計画期間	開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画
根拠法令等	介護保険法
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
───	青報
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者 対象者数 5,000 単位あたりコスト 0.2
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	特定入所者介護サービス(施設入所者の居住費や食費負担分)に係る給付費 (第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る業務内容と経費	二次公表時記載

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)		R3(本年度	E)	R	4(要求年	度)	
	1	当初予算			335,614			335,614			249,162				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0	0		- A= -b	.			
	小計	h(1)~(3)			335,614			335,614			249,162		[編成時 次公表		
予	1	一般財源			0			0			0	,,	·>(7	
	2	国支出金			73,432			73,793			58,071				
算財源	3	府支出金			58,732			58,732			43,603				
内	4	地方債			0			0			0				
訳	⑤	その他特財			203,450			203,089			147,488				
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			335,614			335,614			0			0	
情 報	3	執行額			299,080		二次公	公表時記載			0			0	
ř	4	執行率			89.1%		二次公	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08	/	0.15	0.08	/	0.05	0.08	/	0.05	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		1,015				765			765			0	
		マルコスト 「額+概算人件費)			300,095			765			765			0	

___ Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標	0			0	0	/	/ 0		0 / 0		/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動実績	特定入所者介護サービス給付件数(食費)		件	8322	8460	/	_	8561	/	0	/	-
(アウトプット)		単位あたり	コスト	35.4		35.4						
実績/計画	特定入所者介護サービ	ス給付件数(居住費)	件	7287	7631	/	_	8152	/	0	/	-
		単位あたり	コスト	40.4		39.2						

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 52 介護相談員活動事業 |

(単位:千円)

争来担当	所属 150	30000 福祉	保健部 局断者	1催化脒			1	小禹 長	荒質 止乙	
会計情報	事業コード 42	20552 款	03 地域支援事業	費 項 02 包排	舌支援・任意事業費	目 02 任意事	業費	会計 15	う 介護保険 決算	付属資料
施策体系	施策コード 050)502 施	策名 高齢者の	の生活を支	援する					
計画期間	開始年度平	成13年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画	名 第8次高齢	者保健福祉計	画		
根拠法令等										
事業区分	□ 法定受託事	事務 ☑	国府補助事業	□ 市単	鱼独事業 □	内部庶務的事	業 □ その他	<u>t</u> ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃止/佐	休止 □ 他事	業へ統合	□ 他事業	を統合				
関連事業										
事業基礎性	青報									
事業目的 (あるべき姿)										に応じることにより、利用 ることを目的とする。
対象者	介護サービス村	相談員				対象者数	12		単位あたりコス	66.7
実施方法	☑ 直接実施	□ 業務	≸委託 □ ៎	指定管理	□ 補助金	交付 🗆	その他	,)
委託先·実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	相談を聞き取り	リ、利用者本		が適正に提	供されているだ	か否かを中立的				提供に当たっての苦情や 事業所に改善を要望しても
	支出に係る言	主な費目	支出実績(R2))			主な美	美務内容	3	
主な支出に係る 業務内容と経費					=	次公表時記	載			

Ⅲ 予算執行状況

	2	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度	E)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年)	変)
	1	当初予算			2,462			2,472			2,472			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0	0	₩ 44	r 4音 一种 n 生。	B-1-2		
,	小計	h(①~③)			2,462			2,472			2,472		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,		• /
算	2	国支出金			948			952			952			
財源	3	府支出金			474			476			476			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			1,040			1,044			1,044			
決	1	流充用額			0		二次公	〉表時記載			0			0
算	2	配当予算			2,462			2,472			0			0
情 報	3	執行額			2,053		二次公	〉表時記載			0			0
774	4	執行率			83.4%		二次公	〉表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
		概算人件費		1,840				800			800			0
		タルコスト f額+概算人件費)			3,893			800			800			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	延べ活動回数			483/576	471	/	576	0	/	576	/		576
実績/目標	報償費		千円	1860/2218	1814	/	2218	0	/	2218	/		2218
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	活動施設数	施設		42/42	41	/	41	0	/	41	/		41
(アウトプット)		単位あたり	コスト	47.2		50.1							
実績/計画			回数	/	0	/	0		/		/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	(事業担当所属内による自己部 	半1曲) 評価	評価の理由
7 P	AT III TO FORM	at im	
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの	0	者である外部の目が入りにくい。介護施設等の風通しの良い環境を作り出すためには、第 三者である介護サービス相談員が各施設や事業所を訪問することの意味は大きい。
27 X II	できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		介護サービス相談員への報償費は1日3850円である。金額的には妥当と考えている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		介護サービス相談員から毎月の活動実績報告書を提出してもらい、施設の問題点等があればそれを施設へ報告するなど介護の現場にアウトブットできている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・	生ナフェレス	こ 人送北 じっの担併日担に笠て来ぶ入 フォファしがった 笠てた北 じっ担併に宝ヒして
	いる。		、介護サービスの提供現場に第三者が介入することができ、適正なサービス提供に寄与して
本金の日始みが			制限が通年を通して実施されていたため、相談員による訪問は叶わなかったが、この機会を こよる課題等意見交換の場を設けることで、相談員のフォローアップにつなげることができた。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
73 7 0 7 1 1 1 1			
		Δ =+ Π1++=	마짜 나오노 > 1 - Moham + 7 1月 ヘ to 1 나. ヘ 으셨다. 그 오늘 40 등만 모두 1 Moham 등 1 , 7 시 프다오노 구 그 온 그 나무 1개 (미
	が困難という課題がある。		g数がさらに増加する場合には、介護サービス相談員も増やしていく必要があるが、人材確保 あり困難となっているため、新しい実施方法の検討等が必要である。
		者との直接の	の対話を通じ、課題・ニーズを拾い上げることができ、介護事業所及び行政の橋渡し役となっ
これまでの課題及び 今後の方向性	令和3年度については、第9次高齢者保健		
1/1 - 12 3ms har /	(古典学园》)-17/14/四学的		
VI次評価(〔事業所属外による他部署評値 ┃	b)	
事後評価コメント		車機	対象事業のみ)
学伎計画コメント		争才	於計画夫応夜(〜記載(対象争未のの)
 VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
L VIII 予算反映系	<u> </u> 		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

- 4 –	-	*業属性	,	~	-1		•		1 .	10	1	ন্	• 1	, —			•				(単位:千円)
		業名	46 第1号	波保険	者保険	料還	付金														
	事	集担当	所属	15030	0000 福	祉保	健部 高	新者福祉	上課						所	「属長	荒賀 正	之			
	会	計情報	事業コード	420	546 款	06	諸支出金	金項	01 償還	金及び還	付加算金	目 01 第	第1号被保	除者保険	料会	計 1	5 介護保険	決算	付属資	料	頁
	施針	策体系	施策コード	05050	02	施策	名 高歯	冷者の生活	舌を支持	援する					•			•			
	計画	画期間	開始年度	平成	12年度	終	了予定年	度令和	03年度	関	連計画	名									
	根拠	法令等	介護保険	去																	
	事	集区分	□ 法定受	託事	務 🗆	国国	存補助事	業	1 市単	独事業	 □	内部庶	務的事	業 🗆	その他	. ()
F	3現≀	在の状況	☑ 継続中		〕廃止/	休止	. 🗆	他事業へ	統合		他事業	を統合									
	関決	車事業																			
H	耳	事業基礎 性	青報																		
		集目的 べき姿)	過年度に係	系る介	護保険	料のす	払戻金														
	対	象者	65歳以上の	の第1 5	号被保险	诸						対象	者数		23,000		単位あた	-りコス	۲	0).1
	実加	施方法	☑ 直接実	施	口業	務委	託	□ 指定	管理		補助金	交付		その他	(•)
委託	£先·	実施主体等																			
		業概要 条書き)																			
			支出に係	系る主	な費目	支	出実績	(R2)							主な業	務内容	F				
		出に係る 容と 経費									=	次公表	長時記	載							
111	3	 予算執行/																			
	区	分		21(評	価前年月	度)			R2(言	评価年	度)			R3	(本年)	変)			R4(要求年月	麦)
	1	当初予算					2,276					2,276					2,276				
予	2 1	補正予算					0					0					0				
算情	3 1	繰越予算					0					0					0				
報		前年度繰越					0					0					0				
		次年度繰越					0					0					0		豆 使化	海武吐	2 2 2
	小計((1)~(3)					2,276					2,276					2,276		ア 月 1 (3岁	編成時 文公表	配人 寺)
予	_	一般財源					0					0					0				
算財		国支出金					0					0					0				
源	_	府支出金					0					0					0				
内訳	_	地方債					0					0					0 070				
-	_	その他特財					2,276			一 ′扣	公表時	2,276					2,276				0
決	_	流充用額 ————— 配当予算					2,276			— 次		f 記載 2,276					0				0
算情	_	配 ヨ ア 昇 執 行 額					1,782			— <u>½</u>	公表時						0				0
報	_	執行率					78.3%				公表時公表時										
人概		走事職員数 (正職員/媒託職員)	0.01		/	Ω	60	0.00)	<u>一</u> 《	0.5		0	00		0	.50	0.0	0		0.00
	2 7	^{正職員 / 嘱託職員)} 概算人件費	2.01	1	,580		-	3.00		•		1,250					1,250				0.00
		ルコスト			,		2 262					-									
(予算	執行客	領+概算人件費)					3,362					1,250					1,250				0
IV	業	美績指標																			
		果実績	ŧ	旨	標		単位		H30			R1			R2			R3		最	終目標
	(アウ 実籍	トカム) /目標				0			0		0	/	0	0	/	0		/	0		0
	1M	- P.		- ا	·	0	37.7.		0		0	/	0	0	/	0		/	0		0
					標		単位件		H30 147		140	R1	0	100	R2	0		R3	0	最	·終目標 0
	===	14 中华	還付件数	κ.			1+		i ' i /		143	/	U	166	/	U		1	0		U

12.5

単位あたりコスト

単位あたりコスト

15.5

0.0

項			事業担当所属内による目じ 評価の観点	神仙	評価の理由
- 7		_	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		 介護保険法により介護保険事業運営は市町村が実施主体である。
			事業か	•	
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	٥ ا	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		還付対象者が把握できた時点で還付手続きを進めている。実際の還付処理は複数人をある程度まとめて処理することで事務の効率化を行っている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		 1
			・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	110	還付対象者が把握できた時点で還付手続きを進めているため、年によって還付件数には差が生まれるので、目標は設定していない。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用に 十分行われたか		
			死亡による還付について、相続人の特 	定がすぐにできた	ない場合は戸籍調査により確定し還付している。【定性的評価】
事業の 指標等の 対する!	達成	状況に			
			置付すべき保険料は速やかに還付す。	る。	
			死亡による相続人の特定に時間のか? く。	かる対象者が増え	えてきているが、戸籍調査を速やかに実施することで、引き続き適正に還付事務を行ってい
			•		
これまで	の課 の方[
76	· .	~1 1_			
VI2	二次	評価(事業所属外による他部署語	評価)	
事後評	評価コ.	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
\/II \}	TE AT	去:士	 えた次年度事業方針		
VII \$	竹叫	15'2'T	大に八十尺事系刀刃		評価を踏まえた見直し内容
			77777		Almenatabana IM
	当課の見				77 Mr. (2-1) - 20 7
	及び 要求ス	方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VIII	予算	反映約			
- 写管	反映網	法里	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r 51 -	~~*		□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート - 事業属性

(単位:千円)

事業名	40 地域介護予防活動支援事業
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之
会計情報	事業コード 420540 款 03 地域支援事業費 頁 01 介護予防・生活支援 目 01 介護予防・生活支援 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 050501 施策名 高齢者の生きがいを創出する
計画期間	開始年度 平成29年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 未来創造 福知山、第8次高齢者保健福祉計画
根拠法令等	介護保険法
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗎 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	介護予防普及啓発事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業
	青報
事業目的 (あるべき姿)	年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、住民主体の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していく。
対象者	市内高齢者 対象者数 23,000 単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	 ・地域住民自らが地域で介護予防活動を行えるようになることを目的に、住民から福知山市オリジナル介護予防体操の講師育成を行った。 ・地域からの依頼に対し、住民から育成された体操講師を派遣し、地域の介護予防活動の支援を行った。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る	

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 1	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	4,110	4,905	3,701	
予	2	補正予算	0	0	0	
算情	3	繰越予算	0	0	0	
報		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	7 kir 45 -h n+ 27 7
,	小計	+(① ~ ③)	4,110	4,905	3,701	予算編成時記入 (3次公表時)
予	1	一般財源	0	0	0	(00(20,0)
算	2	国支出金	956	982	740	
算財源	3	府支出金	514	613	463	
内	4	地方債	0	0	0	
訳	(5)	その他特財	2,640	3,310	2,498	
*	1	流充用額	38	二次公表時記載	0	0
決算		配当予算	4,148	4,905	0	0
情報	3	執行額	2,021	二次公表時記載	0	0
710		執行率	48.7%	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.63 / 0.05	0.12 / 0.10	0.12 / 0.10	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	5,165	1,210	1,210	0
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,186	1,210	1,210	0

成果実績	指	標	単位	单位 H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	介護支援サポータ	アーのべ活動時間	時間	2480/2500	1784	/	2500	0	/	2500	/	1250	2500
実績/目標	貯筋体操のべ	参加者数	人	1219/2200	542	/	1200	362	/	1600	/	1600	6900
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	介護支援サポー	-ター登録人数	人	148/170	146	/	158	140	/	158	/	140	200
(アウトプット)		単位あたり	コスト	17.8		13.8							
実績/計画	貯筋体操実施	団体数	団体	46/80	25	/	80	8	/	110	/	50	110
		単位あたり	コスト	46.1		80.8							

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業担当所属内による自己評		F=							
項目	評価の観点	評価	評価の理由							
必要性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	0	2025年には後期高齢者が大きく増加することに伴い、介護が必要になる方も大きく増加することが想定されるなか、健康寿命の延伸並びに増加しつづける医療費や介護給付費の抑制のため、介護予防は非常に重要であり、国においても地域の通いの場の創出が今後の重要施策であると位置づけられている。							
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	0	これまでは、市の保健師等が地域の団体に出向いて体操を行うなどの事業を行っていたが、平成29年度から、一般市民が体操指導者となり地域で体操をするための体操指導者育成事業を開始し、各地域で住民主体となって体操の実施ができることを目指している。令和2年度末までに約80人の市民体操指導者が育成され、徐々に地域で育成された体操指導者が自らのサロン等で行うケースが増加してきている。							
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	0	平成30年度に福知山公立大学の協力のもと、市オリジナル体操である貯筋体操の効果検証を行ったところ、高齢者の身体改善・維持に効果があることが示された。							
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	実施するケースが増加していくことが見込ま あった地域の団体に対し派遣 活動を行って ・事業利用をきっかけに、毎週地域で介護 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、抗	れる。また いる。 ·防体操を行 施設を活動 ため、You	或で貯筋体操教室の実施ができており、今後もサロン等で体操指導者数が自らの地域等で、育成された指導者は自らの地域での活動だけではなく、出向き型事業のなかで、依頼が すう団体が増加してきた。 拠点とする介護支援サポーターの活動は休止となった。また、地域の集まりも自粛が続いた Tubeによる動画配信サービスを利用して、福知山市オリジナルの介護予防体操を配信する							
これまでの課題及び 今後の方向性	・新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も地域の介護予防活動の取組支援と併せて、新しい生活様式に沿った取組推進も継続していく必要がある。 ・令和元年度より事業の利用が有料化になったこともあり、出向き型事業の申込団体が減少している。また、体操の効果を発揮させるには自宅等での体操の継続が望ましいが、継続につながっていないことも多い。 ・年度で3回まで利用可能であるが1回のみの利用が多く、継続した体操ができていない可能性がある。年間1~3回までの体操では介護予防に効果がないことから、令和2年度以降は回数制限を推廃した。 ・介護予防体操の効果を実感し、より地域へ普及させることを目的に、週1回以上3か月間体操を実施する団体を各日常生活圏域ごとにモデル団体として募集、3か月間の利用料を無料とし、体操を実施していただいた。その結果、今後は地域が主体として継続して体操を実施していくこととなった。 ・本事業を進めていくのと併せて、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業で通いの場の地域づくりに取り組み、歩いて通えるような範囲に継続して介護予防体操ができる環境づくりを進めていく必要がある。									
	・令和3年度については、第9次高齢者保健社	単位計画に	基づざ争耒を美施している。							
VI 二次評価(·命和3年度については、第9次高齢者保健社験		歩 フさ争果を美 施してい。							

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	□ 予算縮減		
了异及吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:) □ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 38 介護用品支給事業 38 介護用品支給事業

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉	止保健部 高齢者福	祉課			所属長	荒賀 正之					
会計情報	事業コード 420538 款	03 地域支援事業費	項 02 包括支援・任意事業費	目 02 任意事	業費	会計 15	介護保険 決算	付属資料	頁			
施策体系	施策コード 050502 が	施策名 高齢者の生	活を支援する									
計画期間	開始年度 平成12年度	終了予定年度	和3年度 関連計画名	3								
根拠法令等	福知山市在宅高齢者等が	卜護用品支給事業実	€施要綱									
事業区分	□ 法定受託事務 🗸	国府補助事業	□ 市単独事業 □ [内部庶務的事	業 □ そσ)他 ()			
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/化	休止 🗆 他事業·	へ統合 □ 他事業を	を統合								
関連事業												
	 青報							•				
	介護用品を必要とする非	課税世帯の在宅高	齢者及びその家族等の)経済的負担な	が軽減する。							
事業目的 (あるべき姿)												
対象者	介護用品を必要とする非	 課税世帯の在宅高	齢者	対象者数	80	0	単位あたりコス	. F	0.7			
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指定	E管理 口 補助金3	交付 🗆	その他	()			
委託先·実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	要介護2以上の非課税世帯の在宅高齢者の方に対して、紙おむつなどの介護用品を購入する場合に、クーポン券を支給する。 《助成額 月額》 要介護2:2,000円 要介護3~5:4,000円											
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な	業務内容						
主な支出に係る 業務内容と経費	- 体 る											

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度)	R	4(要求年)	支)	
	1	当初予算			34,158			29,598			27,998				
予	2	補正予算			0		0 0								
算情	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越	0 0						0	,					
		次年度繰越			0			0			0	予算編成時記入 (3次公表時)			
	小計	h(1)~(3)			34,158			29,598			27,998				
予	1	一般財源			0			0			0	,,	·>(47	
	2	国支出金			13,152			11,395			10,778				
算財源	3	府支出金			6,575			5,698			5,389				
内	4	地方債			0			0			0				
訳	⑤	その他特財			14,431			12,505			11,831				
決	1	流充用額			1,940		二次公	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			36,098			29,598			0			0	
情報	3	執行額			35,553		二次公	公表時記載			0			0	
THX	4	執行率			98.5%		二次公	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		1,760				560			560			0	
		マルコスト デ額+概算人件費)			37,313			560			560			0	

成果実績	指標		単位	単位 H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	事業利用者(到	実人数)	人	1500/1300	700	/	700	635	/	700	/	700	700
実績/目標	利用率(利用を	皆/対象者)	%	60/60	87.5	/	60	79	/	60	/	60	60
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	事業指定事業	所数	事業	43/50	46	/	50	47	/	50	/	50	50
(アウトプット)		単位あたり:	コスト	1037.7		772.9							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり:	コスト	0.0									

□ Ⅴ 一次評価(、	評価	評価の理由
~ -	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	W1 11-	・課税状況、要介護度の情報が必要であり、民間への委託は難しい。
	事業か		・高齢者の在宅介護を支援する目的・目標の達成手段としては、優先度は高い事業と思われる。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	・利用対象者の8割以上が利用されており、ニーズに適合した事業であると考えられる。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		令和元年10月に対象者と給付費の見直しを図り、コスト削減、効率化に努めた。 【変更前】 対象者: 要介護2以上の在宅高齢者
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	給付額: (課税)要介護2:1,000円、要介護3:1,600円、要介護4:2,000円、要介護5:2,600円 (非課税)要介護2:3,000円、要介護3:5,000円、要介護4:6,000円、要介護5:8,000円
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		利用人数に事業のニーズが反映されている。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		17円八気にず未び一 ハル及いでもしている。
有効性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	対象者人数に対する申請者人数が多く、ニ	一ズに見合	かた事業である。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	介護保険制度の地域支援事業として在宅 域支援事業の制度改正を踏まえ、地域支援		その家族(介護者)の経済的負担を軽減するために実施しているものであるが、国における地 象外とされたところである。
			対象者をオムツ等が必要な方に限定する制度改正を行った。 でのさらなる制度変更や厳密に地域支援事業の対象外とする変更も予想されるため、継続し
これまでの課題及び	て国の動向を注視する必要がある。		
今後の方向性			
VI 二次評価	(事業所属外による他部署評価	j)	
事後評価コメント		車当	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
7- BOH IM-V P		7.4	
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映:			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了开从队和不	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

. 4 /12/1/4 1-	
事業名	31 介護予防普及啓発事業
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之
会計情報	事業コード 420531 款 03 地域支援事業費 項 01 介護予防・生活支援 目 01 介護予防・生活支援 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 050501 施策名 高齢者の生きがいを創出する
計画期間	開始年度 平成29年度 終7予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画
根拠法令等	介護保険法
事業区分	□ 法定受託事務 🗹 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗆 内部庶務的事業 🗆 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	地域介護予防活動支援事業、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業
── 事業基礎忖	青報
事業目的 (あるべき姿)	65歳以上の者を対象に、できるだけ要介護状態になることを予防し、一人ひとりが生きがいや役割を持って生活できる地域を構築することにより、 介護予防を推進する。
対象者	市内高齢者 対象者数 23,000 単位あたりコスト 0.3
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	・依頼のあった地域へ介護予防の普及啓発に資する運動、栄養、口腔、認知症予防に係る介護予防教室の開催のため、専門士を派遣した。 ・日常生活圏域ごとに毎週1回ずつ、介護予防教室を開催した。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公売時記載

|| 予算執行状況

	2	了 昇	R1(評価前年度	E)	R2	(評価年度)	R	3(本年度)		R4	(要求年)	変)
	1	当初予算		5,319			5,248			5,277			
予	2	補正予算		0			0						
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0 0						0		. 45 − 1 π+ 1	
,	小計	·(①~③)		5,319			5,248			5,277		「編成時 次公表	
予	1	一般財源		0			0			0	,,,	~\ _	*/
第	2	国支出金		1,237			1,050			1,055			
算財源	3	府支出金		665			656			660			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	(5)	その他特財		3,417			3,542			3,562			
決	1	流充用額		△ 38		二次公	·表時記載			0			0
決算		配当予算		5,281			5,248			0			0
情報	3	執行額		4,325			表時記載			0			0
TIA.		執行率		81.9%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/模託職員)	0.38 /	0.45	0.90	/	0.00	0.90	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	4,165				7,200			7,200			0
		アルコスト (額+概算人件費)		8,490			7,200			7,200			0

二次公表時記載

成果実績	指	指 標		H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	65歳以上新規認定申請者割合		%	4.4/4.5以下	4.6	/	4.5以下	5	/	4.5以下	/	4.5以下	4.5以下
実績/目標	65歳以上要支援	・要介護認定率	%	21.5/19.9以下	21.7	/	19.9以下	22.1	/	19.9以下	/	19.9以下	19.9以下
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	教室開催回数		□	598/619	525	/	619	19	/	619	/		619
(アウトプット)		単位あたり	コスト	7.9		8.2							
実績/計画	教室会場数		箇所	113/77	93	/	77	13	/	77	/		77
		単位あたり	コスト	57.5		46.5	·						

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	● 兼 担 当 所 偶 内 による目 亡 計 評価の観点	評価	評価の理由
74 1	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	RT IIM	
	事業か		民間事業所もあるが、地域が限られているため、市として事業を実施し、その中で更なる住民ニーズの把握や市民が主体的に取組める仕組みが必要である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	氏―一人の打権や中氏が主体的に収組める任相のが必要である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		集約型事業では、移動手段の問題があり、有料の移送サービスを利用している参加者がいるため、自己負担をとらずに実施している。それぞれの地域において体操が実施できる環境を整える等、地域主体の通いの場の創出も併せて進めていく必要がある。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	Δ	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		集处则支票之后,4. 从上则自之中,参加来办从上办处社,为关系之为4. 土土,口类此
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		集約型事業で行った体力測定では、参加者の体力の維持・改善がみられた。また、日常生活のなかで、「階段の上り下りが楽になった」「ペットボトルのふたが開けやすくなった」などの声が多く寄せられている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	T 18:11:	
	動・栄養・口腔の内容で実施しており、フレイ	(ル予防や	可いて実施しているが、新規団体・新規参加者数も増え、地域でも定着しつつある。また、運 認知症予防にもつながっていると考えられる。市オリジナル体操(貯筋体操)については、高
	齢者の困りごとに着目した内容となっており ・令和2年度については、新型コロナウイル。		続している参加者も多い。 影響により、地域活動が自粛され、事業実施回数が大幅に減少した。自粛生活に伴う閉じこ
事業の目的及び 指標等の達成状況に			いまり自宅での運動や注意する点等についての啓発を行った。
対する定性的評価			
			ともに他の関連事業も含めた情報提供や介護予防の取組みの必要性を理解してもらえるよ 作りを通じて高齢者が主体的に取組み、支えあう地域づくりを目指す。
	・本事業に参加していない高齢者に対しての ・ 令和3年度については、第9次高齢者保健		
これまでの課題及び	17年の一及については、3700人間間日本に		
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント		車業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
7 DAN 1 MAY 2		7.	
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映線	· · · · ·		
马管反映绘用	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 29介護予防・生活支援サービス事業

(単位:千円)

事業担当	Minion Minion							
会計情報	業コード 420529 款 03 地域支援事業費 項 01 介護予防・生活支援 目 01 介護予防・生活支援 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁							
施策体系	□策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する							
計画期間	開始年度 平成29年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画							
根拠法令等								
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()							
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合							
関連事業								
事業基礎性	青報							
事業目的 (あるべき姿)	高齢に伴う心身機能の低下により要支援状態になっても、住み慣れた地域で自助・共助・公助の仕組みを活用し、残存機能の維持改善や要介護状態の悪化防止、もしくは軽減を目指し、いつまでも自立した生活を送れるようにする。							
対象者	要支援認定者等 対象者数 1,184 単位あたりコスト 7.6							
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()							
委託先·実施主体等	株式会社石坪、福知山市民病院							
事業概要 (箇条書き)	要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を 実施することにより、1人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることが出来るように 支援する。要支援等の認定者に訪問型サービス(現行相当、サービスA、サービスC)、通所型サービス(現行相当、サービスC)を提供する。							
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容							
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載							

Ⅲ 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 征	R1(評価前年	丰度)	R2	2(評価年度)	R	3(本年度)	R4	(要求年)	芰)		
	1	当初予算		182,020			183,055			184,782					
予	2	補正予算		0			0			0					
算情	3	繰越予算		0			0			0					
報		前年度繰越		0			0			0					
		次年度繰越		0			0			0	च= hd	r 4 = - 1 - r +			
,	小計	+(① ~ ③)		182,020			183,055			184,782		「編成時 次公表			
₹	1	一般財源		0			0			0	,,,	<u> </u>	47		
算	2	国支出金		42,340			45,106			45,670					
算財源	3	府支出金		22,752			22,882			23,098	3				
内	4	地方債		0			0			0					
訳	(5)	その他特財		116,928			115,067			116,014					
*	1	流充用額		0		二次公	·表時記載			0			0		
決算		配当予算		182,020			183,055			0			0		
情報	3	執行額		174,586		二次公	·表時記載			0			0		
710		執行率		95.9%		二次公	·表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.64 /	1.20	0.78	/	1.10	0.78	/	1.10	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費	8,120				8,990			8,990			0		
		スルコスト		182,706			8,990			8,990			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)	65歳以上新規語	尼定申請者割合	%	4.4/4.5以下	4.6	/	4.5以下	5	/	4.5以下	/	4.5以下
実績/目標	65歳以上要支援	・要介護認定率	%	21.5/19.9以下	21.7	/	19.9以下	22.1	/	19.9以下	/	19.9以下
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動実績	短期集中介入サー	ービスC利用者数	人	37/130	77	/	130	59	/	130	/	130
(アウトプット)		単位あたり	コスト	4531.6		2267.4						
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

	(事業担当所属内による								
項目	評価の観点	評価	評価の理由						
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉事業か ・民間事業者や市民が自ら実施すできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切	^{ತವ೬の} O	本人や地域での取組みは不可欠だが、機能維持・改善に加えて1人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援するためには、専門職の関与が必要である。						
	優先度の高い事業か	, , , ,							
	・受益者との負担関係や単位あたコストは妥当な水準か		サービスCは利用者負担を無くし短期間での改善を目指している。令和元年度は利用者が 大幅に増加したが、費用対効果の面では課題がある。サービス利用後の追跡調査(どれぐらいの期間状態維持できているかの確認)が必要。また、更なる周知にも努める必要があ						
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較に 十分行われているか	Δ	ి.						
	・コスト削減や効率化に向けたエメ 施されているか	₹が							
	・成果目標は理にかない、実績は、 把握・測定されているか	適切に	活動実績は見込みに届いていないが、本事業の活用により、機能維持・改善ができ、通所型・訪問型それぞれの専門職が連携をとりながら効果的な支援ができている。						
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0							
	・先行事例の分析や外部資源の活 十分行われたか	用は							
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	適切なタイミングで、利用者の自立支援に向けたサービスを利用(マネジメント)することが重要であり、本事業においては一概に利用者数が多いことが望ましいとは言えない。利用者は身体機能の維持・改善だけでなく、趣味活動の再開や生活動作の容易性につながる等の効果が見られている。また、サービスCを含めたサービス類型については、ケアマネージャー等関係者を通じて市民にも周知できていると思われる。今後更に高齢者人口が増えるため、対象者数や対象像が変動していくことを念頭に効果的な実施方法・内容の検討が必要である。								
これまでの課題及び 今後の方向性	介護予防・健康づくり事業とあわせ・サービスCについては、短期間集く。また、課題となっているサービス 対づくりを併せて進めていく必要が・令和2年度に住民同士によるささ	tた取組みを進め、介 中的な支援の効果な Cの卒業後の維持・ がある。 えあいサービスへの 合いの仕組みづくりを	でいくことを念頭に、サービス類型やマネジメント方法等の見直しが必要である。また、他の下護認定率の上昇抑制につなげる。 がどれぐらい維持できているか、利用終了後の確認も必要であり、更なる周知にも努めてい継続について、生活支援・介護予防サービス基盤整備事業のなかで通いの場の創出等、地支援施策として、介護予防・日常生活支援総合事業のサービスのなかにサービスBを新たに生検討している地域の取組支援をしていく。 基づき事業を実施していく。						
VI 二次評価	(事業所属外による他部)	署評価)							
事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)								
VII 評価をふま	えた次年度事業方針								
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容						
担当課の事業の見直し			予算編成に記入						

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	□ 予算縮減		
7.异及吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 25 地域密着型介護費

(単位:千円)

事業担当	所属							
会計情報	事業コード 420525 款 02 保険給付費 項 01 保険給付費 目 01 介護サービス等諸費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁							
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する							
計画期間	開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画							
根拠法令等	介護保険法							
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗎 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()							
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合							
関連事業								
	青報							
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。							
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者 対象者数 5,000 単位あたりコスト 0.3							
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()							
委託先•実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	地域密着型介護サービスに係る給付費 (第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)							
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容							
主な支出に係る業務内容と経費	二次公表時記載							

_____ Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	[度]	R	2(評価年	度)	ı	R3(本年原	₹)	R4	(要求年)	变)		
	1	当初予算			1,325,646			1,378,249			1,270,555					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
惰報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0	To hi		8 0 2		
,	小計	+(1 ~ 3)			1,325,646			1,378,249			1,270,555		「編成時 次公表			
予	1	一般財源			0			0			0	,,	~~~			
算	2	国支出金			356,333			371,953			359,657					
財源	3	府支出金			165,706			172,281			158,819					
内	4	地方債			0			0			0					
訳	⑤	その他特財			803,607			834,015			752,079	79				
決	1	流充用額			△ 140,891		二次	公表時記載			0			(
算	2	配当予算			1,184,755			1,378,249			0			C		
惰報	3	執行額			1,089,855		二次	公表時記載			0			C		
HX.	4	執行率			92.0%		二次	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.03	/	0.00	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		240				1,680			1,680			C		
		アルコスト (領+概算人件費)			1,090,095			1,680			1,680			C		

成學掌籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	地域密着型介	護費給付件数	件	9051	8702	/	_	8402	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	124.5		125.2						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•					

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 23高額介護サービス費

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉保	保健部 高齢者福祉課			所属長	荒賀 正之	
会計情報	事業コード 420523 款 02	2 保険給付費 項 01 保	険給付費 目 01	介護サービス等諸費	会計 15	介護保険 決算付加	属資料 頁
施策体系	施策コード 050502 施策	(名 高齢者の生活を支援	する			•	
計画期間	開始年度 平成12年度 終	下子定年度 令和2年度	関連計画名 第	8次高齢者保健福祉	止計画、第7月	期介護保険事業計	画
根拠法令等	介護保険法		•				
事業区分	□ 法定受託事務 🗸 国	府補助事業 □ 市単独	虫事業 □ 内部庶	₹務的事業 □ その	の他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休』	上 □ 他事業へ統合	□ 他事業を統合	•			
関連事業							
── 事業基礎 ┃	 青報						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	少子高齢化が進む中で、本				する高齢者が	が増加している。在	宅福祉サービス、施設
事業目的	サービスの充実を図るととも	に、週止で女正した介護に	未陝争美連呂を行う	ことを目的とする。			
(あるべき姿)							
対象者	第1号及び第2号被保険者の	うち要介護・要支援認定を	を受けた者 対象	7,0	00	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務勢	委託 🗆 指定管理	□ 補助金交付	□ その他	()
委託先•実施主体等							
	高額介護(介護予防)サービ (第8次福知山市高齢者保健						
			()にたい 主にい 0分				
事業概要							
(箇条書き)							
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)		主力	な業務内容		
主な支出に係る 業務内容と経費							
未物内谷と粧質			二次公	表時記載			
ر مدد دید م ارد وس	D ver						
─── 予算執行				1			
区 公	D1(鞭体前午度)	D2 (智)	価年度)	D2(★	午 度)		04(亜少年度)

	Z	分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	₹)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			163,172			163,646			159,303			
予	2	補正予算			0			0			0			
算権	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			
,	小計	+(① ~ ③)			163,172			163,646			159,303		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,,	<u> </u>	7 / ·
算	2	国支出金			43,861	44,					45,093			
財源	3	府支出金			20,397			20,456			19,913			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			98,914			99,026			94,297			
決	1	流充用額			8,166		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			171,338			163,646			0			0
惰報	3	執行額			171,338		二次	公表時記載			0			0
ŦX	4	執行率			100.0%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02	/	0.25	0.02	/	0.35	0.02	/	0.35	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		785				1,035			1,035			0
		アルコスト (172,123			1,035			1,035			0

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	高額介護サービ	ごス費支給件数	件	13862	15291	/	_	15031	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	11.6		11.2						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

爭果偶性											
事業名	22 介護予防支援費										
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之										
会計情報	事業コード 420522 款 02 保険給付費 項 01 保険給付費 目 01 介護サービス等諸費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁										
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する										
計画期間	開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画										
根拠法令等	雙保険法										
事業区分	法定受託事務 🗸 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗆 内部庶務的事業 🗅 その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業											
 事業基礎性	青報										
	子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設 ービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。										
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者 対象者数 5,000 単位あたりコスト 0.0										
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先·実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	要支援認定者の介護予防サービス計画(ケアプラン)作成に係る経費(請求)に対する給付費 (第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)										
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容										
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載										

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 征			度)	R	2(評価年月	E)	F	₹3(本年度	()	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			38,325			37,789			29,321			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T A		6 7.7
,	ト計	+(① ~ ③)			38,325			37,789			29,321		車編成時 3次公表∣	
₹	1	一般財源			0			0			0))(<u> </u>	~4 /
算	2	国支出金			10,301	10,1					8,300			
算財源	3	府支出金			4,791			4,724			3,665			
内	4	地方債			0			0			0			
泥	⑤	その他特財			23,233			22,866			17,356			
211	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
決算	2	配当予算			38,325			37,789			0			0
情報	3	執行額			29,127		二次公	公表時記載			0			0
+HX		執行率			76.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.02	/	0.00	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		160				240			240			0
		アルコスト (預・概算人件費)			29,287			240			240			0

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動室籍	介護予防支援	給付件数	件	6072	6616	/	_	7409	/	0	/	0
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	4.4		4.4						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 21 介護予防住宅政修費

(単位:千円)

事業名	21 介護予防住宅改修費						
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之						
会計情報	事業コード 420521 款 02 保険給付費 項 01 保険給付費 目 01 介護サービス等諸費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁						
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する						
計画期間	開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画						
根拠法令等	介護保険法						
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()						
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合						
関連事業							
── 事業基礎』	青報						
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。						
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者 対象者数 5,000 単位あたりコスト 0.1						
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()						
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	要支援認定者の住宅改修に係る給付費 (第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)						
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容						
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載						
予算執行	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						

	2	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度)	R	4(要求年)	変)
	1	当初予算			13,244			13,244			10,294			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越	0			0				0				
		次年度繰越			0			0			0		- AT -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計	+(① ~ ③)			13,244			13,244			10,294		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	V 1 1 1 1	47
	2	国支出金			3,560			3,574			2,915			
算財源	3	府支出金			1,656			1,656			1,287			
内	4	地方債			0			0			0			
別	(5)	その他特財			8,028	8,014					6,092			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			13,244			13,244			0			0
惰報	3	執行額			9,675		二次公	公表時記載			0			0
ř	4	執行率			73.1%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01	/	0.32	0.02	/	0.17	0.02	/	0.17	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	_	880				585			585			0
		マルコスト			10,555			585			585			0

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動室籍	介護予防住宅改	攻修費支給件数	件	123	124	/	_	98	/	0	/	0
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	スト	88.9		78.0						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

于来两压											
事業名	20 介護予	20 介護予防福祉用具購入費									
事業担当	所属	15030000	福祉保健部	『 高齢者	首福祉課			所属長	荒賀 正之	<u>-</u>	
会計情報	事業コード	420520	款 02 保险	食給付費	項 01 保	食給付費 目	01 介護サービス等諸費	会計	15 介護保険	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者(の生活を支援	する					
計画期間	開始年度	度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画									
根拠法令等	介護保険	介護保険法									
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業				•				•			

事業基礎	業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設サービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。									
対象者	第1号及び第2号被保険者	fのうち要介護・要3	を 援認定を受けた者	対象者数	5,000	単位あたりコスト	0.2			
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	≧管理 □ 補助金	햩交付 □	その他()			
委託先•実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	要支援認定者の福祉用具購入に係る給付費(第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)									
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!				
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載									

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年度	隻)	F	R3(本年度	E)	R4	(要求年)	支)		
	1	当初予算			2,274			2,274			3,350					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算	0			0					0					
情報		前年度繰越	0		0			0								
		次年度繰越	0			0			0			77 Mir 45 - 1 n + 27 7				
,	小計	h((1)~(3))	2,274				2,274				3,350	D 予算編成時記入 (3次公表時)				
予	1	一般財源	0					0			0					
算	2	国支出金			612		614 94				949					
財源	3	府支出金			284			284	419							
内	4	地方債			0			0			0					
訳	⑤	その他特財			1,378			1,376			1,982	1 -				
決	1	流充用額			500		二次位	公表時記載			0			0		
算	2	配当予算			2,774			2,274	0			0				
情 報	3	執行額	2,685			二次公表時記載			0							
770.		執行率			96.8%		二次位	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01	/	0.12	0.02	/	0.37	0.02	/	0.37	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		380				1,085			1,085			0		
		アルコスト f額+概算人件費)			3,065			1,085			1,085			0		

Ⅳ 業績指標

成學字績	指標		単位	H30	R1		R2		R3		最終目標		
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	0			0	0	/	0	0	/	0	/		0
		0		0	0	/	0	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	介護予防福祉用具購入費支給件数		件	110	119	/	_	112	/	0	/		0
活動実績 (アウトブット) 実績/計画		単位あたり	コスト	21.7		22.6							
	単位あたりコスト			0	0	/	0		/	0	/		0
			コスト	0.0									

(単位:千円)

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由								
		計画									
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。								
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0									
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か										
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。								
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0									
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか										
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。								
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0									
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか										
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期								
事業の目的及び 指標等の達成状況に											
対する定性的評価											
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引								
	き続き行っていく。 介護保険法等により市が実施することとされている介護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 令和3年度については、第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。										
これまでの課題及び 今後の方向性	アル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)									
**************************************		-4-									
事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)								
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針										
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容								
担当課の 事業の見直し											
及び 予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)									
₩ 予算反映	結果										
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減								

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 19 居宅介護予防サービス費

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

会計情報	事業コード 4	420519 款	02 保険給	付費	項 01 保	倹給付費	目 01 介護サ	ービス等諸費	会計 1	5 介護保険 決	:算付属資料		頁
施策体系	施策コード 050	50502 方	施策名 高	齢者の生	活を支援	する							
計画期間	開始年度平	₽成12年度	終了予定年	年度 令	和2年度	関連計画	名 第8次高	於者保健福祉	止計画、第	7期介護保険事	業計画		
根拠法令等	介護保険法												
事業区分	□ 法定受託	事務 ☑	国府補助	事業	□ 市単独	は事業 □	内部庶務的	事業 口 その	の他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃止/	休止 口	他事業	へ統合	□ 他事業	を統合						
関連事業													
事業基礎性	青報												
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が サービスの充								する高齢者	者が増加している	る。在宅福祉	サービス、施設	
対象者	第1号及び第2	2号被保険	きのうち要介	うしゅう しゅうしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しょう かいしょう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	援認定を	受けた者	対象者数	5,0	00	単位あたりコ	スト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施	口業	務委託	口 指定	管理	□ 補助金	交付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	要支援認定者 (第8次福知山							宅介護予防	サービス∄	費に係る給付費			
	支出に係る	主な費目	支出実績	責(R2)				主	な業務内容	容			
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表時間	己載					

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	ı	3(本年度	:)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			81,039			85,288			117,867			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP /n	- AT -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計	h(1)~(3)			81,039			85,288			117,867		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	V 1 1 1 1	47
	2	国支出金			21,784			23,017			33,365			
算財源	3	府支出金			10,130			10,661			14,733			
内	4	地方債			0			0			0			
泥	⑤	その他特財			49,125			51,610			69,769			
決	1	流充用額			27,235		二次位	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			108,274			85,288			0			0
情報	3	執行額			108,274		二次位	公表時記載			0			0
ŦX	4	執行率			100.0%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04	/	0.00	0.04	/	0.00	0.04	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	_	320				320			320			0
		マルコスト デ額+概算人件費)			108,594			320			320			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/		0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	居宅介護予防サ	一ビス給付件数	件	6953	7739	/	_	8577	/	0	/		0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	13.2		14.0							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 18 介護保険施設サービス費

(単位:千円)

争来担目	川禹	15030000 4	恰似休 健日	1) 同野化	i 価祉誌				川周女	九貝 正之		
会計情報	事業コード	420518	款 02 保障	倹給付費	項 01	保険給付費	目 01 介護サ	一ビス等諸費	会計 1	5 介護保険	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	り生活を支	を援する						
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	定年度	令和2年月	度 関連計画	名 第8次高	齢者保健福祉	业計画、第	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	介護保険	去										
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	口 市	単独事業 🗆	内部庶務的	事業 口 その	の他(,)
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃⊥	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を統合					
関連事業												
── 事業基礎忖	 青報											
事業目的 (あるべき姿)						が30%を超え、 獲保険事業運営				きが増加して(いる。在宅福祉	サービス、施設
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち	要介護・	要支援認定	定を受けた者	対象者数	5,0	000	単位あたり	コスト	0.1
実施方法	☑ 直接実	≟施 □	業務委託	□ j	旨定管理	□ 補助金	交付 [〕その他	()
委託先·実施主体等												
事業概要 (箇条書き)						ムや介護法人化 ビス見込み量に		介護施設サ	一ビスに係	系る給付費		
	支出に係	系る主な費目	支出	実績(R2)	1			主	な業務内容	李		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表時間	记載				

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)		R3(本年)	隻)	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			2,559,899			2,537,739			2,818,376			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	A	* AT -1 -1	#
	小計	h(1)~(3)			2,559,899			2,537,739			2,818,376		¶編成時 3次公表[
予	1	一般財源			0			0			0	,,	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	-97
	2	国支出金			560,560			557,983			656,879			
算財源	3	府支出金			447,981			444,104			493,215			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			1,551,358			1,535,652			1,668,282			
決	1	流充用額			140,891		二次:	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			2,700,790			2,537,739			0			0
情 報	3	執行額			2,700,790		二次:	公表時記載			0			0
ř	4	執行率			100.0%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.03	/	0.00	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		240				480			480			0
		マルコスト デ額+概算人件費)			2,701,030			480			480			0

成學掌籍	成果実績 指標		単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	介護施設サー	ビス給付件数	件	10161	10365	/	_	10354	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	255.6		260.6						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性												
事業名	17 居宅介護支援費											
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之											
会計情報	事業コード 420517 款 02 保険給付費 項 01 保険給付費 目 01 介護サービス等諸費 会計 15 介護保険 決算付属資料 頁											
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する											
計画期間	開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画、第7期介護保険事業計画											
根拠法令等	介護保険法											
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗎 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()											
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業												
	青報											
事業目的 (あるべき姿)	子高齢化が進む中で、本市においても高齢化率が30%を超え、介護保険サービスを利用する高齢者が増加している。在宅福祉サービス、施設ービスの充実を図るとともに、適正で安定した介護保険事業運営を行うことを目的とする。											
対象者	第1号及び第2号被保険者のうち要介護・要支援認定を受けた者 対象者数 5,000 単位あたりコスト 0.0											
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()											
委託先•実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	要介護認定者の介護サービス計画(ケアブラン)作成に係る経費(請求)に対する給付費 (第8次福知山市高齢者保健福祉計画に基づくサービス見込み量による算定)											
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容											

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	支)		R3(本年度	()	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			405,478			403,391			397,876			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	A	~ A= -b -c-	.
	小計	h(1)~(3)			405,478			403,391			397,876		[編成時 3次公表[
予	1	一般財源			0			0			0	,,	<i>-</i>	7
	2	国支出金			108,993			108,864			112,627			
算財源	3	府支出金			50,685			50,424			49,735			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	(5)	その他特財			245,800			244,103			235,514			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			405,478			403,391			0			0
情 報	3	執行額			395,208		二次	公表時記載			0			0
ŦX	4	執行率			97.5%		二次	公表時記載						
人概		従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.03	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		240				240			240			0
		タルコスト (新典の)			395,448			240			240			0

二次公表時記載

成果実績	実績		単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動室籍	居宅介護支援	給付件数	件	28639	27737	/	_	26618	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり:	コスト	14.2		14.2						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり:	コスト	0.0			•					

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 16 居宅介護住宅政修費 |

(単位:千円)

事業担当	所属										
会計情報	事業コード	420516	款 02 保険総	付費 項 01	保険給付費	目 01 介護サー	-ビス等諸費	会計 15	介護保険	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名 高	齢者の生活を	支援する						
計画期間	開始年度	平成12年	度終了予定	年度 令和2年	度関連計画	第8次高齢	者保健福祉	計画、第7	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	介護保険	去									
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補助	事業 口市	単独事業 □	内部庶務的事	業 □ その)他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止 □] 他事業へ統合	□ 他事第	美を統合					
関連事業											
事業基礎性	青報										
事業目的 (あるべき姿)					が30%を超え、 護保険事業運			る高齢者	が増加してい	いる。在宅福祉	Ⅎサービス、施設
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち要な	介護•要支援認	定を受けた者	対象者数	5,00	00	単位あたり	リコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実	『施 □	業務委託	□ 指定管理	□ 補助釒	è交付 🗆	その他	()
委託先·実施主体等											
事業概要 (箇条書き)			改修に係る給 者保健福祉計		-ビス見込み量(による算定)					
	支出に信	系る主な費用	支出実統	責(R2)			主な	業務内容	3		
主な支出に係る 業務内容と経費					=	二次公表時記	載				
	米 泥										

	2	5 分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	:)	R	(要求年)	変)
	1	当初予算			20,353			20,353			18,278			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TT AI	- AT -11-	
,	小計	†(①~ ③)			20,353			20,353			18,278		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	<u> </u>	47
	2	国支出金			5,472			5,493			5,175			
算財源	3	府支出金			2,544			2,544			2,285			
内	4	地方債			0			0			0			
別	(5)	その他特財			12,337			12,316			10,818			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			20,353			20,353			0			0
情 報	3	執行額			16,164		二次公	公表時記載			0			0
ř	4	執行率			79.4%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02	/	0.32	0.02	/	0.37	0.02	/	0.37	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	_	960				1,085			1,085			0
		マルコスト (17,124 1,08				1,085	1,085					0	

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動室籍	居宅介護住宅改	收修費支給件数	件	253	223	/	_	166	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	75.7		72.5						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 15 居宅介護福祉用具購入費

(単位:千円)

争来担ヨ	川禹	15030000	価価/本/建 日	1) 心里有	1 価 性 味					斯馬 技	九貝 正之		
会計情報	事業コード	420515	款 02 保障	倹給付費	項 01	保険給付費	目 01	介護サー	ビス等諸費	会計 1	5 介護保険	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	り生活をす	支援する							
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	定年度	令和2年	度関連計画	名 第	8次高齢	者保健福祉	Ŀ計画、第	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	介護保険	去											
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	亅事業	口市	単独事業 🛛	内部原	焦務的事	業 口その	り他 (•)
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事	業へ統合	ì □ 他事業	を統合	ì					
関連事業													
	青報												
事業目的 (あるべき姿)						が30%を超え、 護保険事業運営				する高齢者	皆が増加してい	いる。在宅福祉	tサービス、施設
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち	要介護・	要支援認定	定を受けた者	対象	食者数	5,0	00	単位あたり	コスト	0.1
実施方法	☑ 直接実	『施 □	業務委託	□ ‡	旨定管理	□ 補助金	交付		その他	(•	•)
委託先•実施主体等													
事業概要 (箇条書き)		定者の福祉 印山市高齢 ・				ビス見込み量に	こよる第	草定)					
	支出に信	系る主な費用	支出 支出	実績(R2)	1				主机	は業務内容	李		
主な支出に係る 業務内容と経費						=		表時記	載				

	2	了 昇	R1(評価	前年度)	R	2(評価年度	<u>'</u>)	R	3(本年度)	R	(要求年)	変)
	1	当初予算		10,920			10,920			10,801			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	TP 64		
,	小計	h(1)~(3)		10,920			10,920			10,801		「編成時 次公表	
予	1	一般財源		0			0			0	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	*/
第	2	国支出金		2,935			2,947			3,057			
算財源	3	府支出金		1,365			1,365			1,350			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	⑤	その他特財		6,620			6,608			6,394			
*	1	流充用額		△ 500		二次公	表時記載			0			0
決算		配当予算		10,420			10,920			0			0
情報	3	執行額		10,215		二次公	表時記載			0			0
710		執行率		98.0%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01 /	0.12	0.02	/	0.17	0.02	/	0.17	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	38	0			585			585			0
		アルコスト 可額+概算人件費)		10,595 585					585				

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	居宅介護福祉用具	購入費支給者数	人	346	371	/	_	317	/	0	/	0
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	28.6		27.5						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0		•						

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 |14 居宅介護サービス費

(単位:千円)

事業担当	所属	15030000 7	福祉保健部	『 高齢者	福祉課					所属長	荒賀 正之		
会計情報	事業コード	420514	款 02 保险	食給付費	項 01 份	保険給付費	目	01 介護サー	ビス等諸費	会計 1	5 介護保険	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	生活を支	援する							
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	定年度	令和2年度	関連計画	Ī名	第8次高齢	者保健福祉	L計画、第	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	介護保険流	L											
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	i助事業	□ 市単	独事業 🛘	内部	祁庶務的事	業 口その	D他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃⊥	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	きを紛	合					
関連事業													
事業基礎性	青報												
事業目的 (あるべき姿)						30%を超え、 保険事業運				する高齢者	者が増加して (いる。在宅福祉	Ⅎサービス、施設
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち	要介護・要	E支援認定	を受けた者	文	付象者数	5,0	00	単位あたり	Jコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実	施	業務委託	口指	定管理	□ 補助金	交交	t 🗆	その他	()
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)						護等の居宅介 『ス見込み量』			:係る給付書	B			
	支出に係	系る主な費目	支出	実績(R2)					主な	は業務内容	容		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	二次:	公表時記	載				

Ⅲ 予算執行状況

III	区	了 昇 靱 仃 征	R1(評価前	(年度)	R	2(評価年度	E)	F	3(本年度	!)	R	4(要求年)	度)
	1	当初予算		2,612,033			2,580,700			2,521,036			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0		- A= -b	. .
,	小計	+(① ~ ③)		2,612,033			2,580,700			2,521,036		[編成時 次公表	
予	1	一般財源		0			0			0	,,	·>(147
	2	国支出金		702,115			696,465			713,631			
算財源	3	府支出金		326,504			322,587			315,130			
内	4	地方債		0			0			0			
別	⑤	その他特財		1,583,414			1,561,648			1,492,275			
決	1	流充用額		△ 35,402		二次公	&表時記載			0			0
箅	2	配当予算		2,576,631			2,580,700			0			0
情報	3	執行額		2,446,350		二次公	\表時記載			0			0
ř		執行率		94.9%		二次公	&表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.04 /	0.00	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	320				480			480			0
		マルコスト		2,446,670			480			480			0

一个不被扣你												
成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動室籍	居宅介護サー	ビス給付件数	件	62093	61912	/	_	59962	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	39.6		39.5						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目亡評 評価の観点	神価	評価の理由
		計画	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に基づき 高齢者が安心して生活していくためには、介 介護保険事業計画に基づき、適正な事業運	護保険サ-	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護サ 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		D増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
			度保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	I THE TAXES CONTRACTOR IN THE PROPERTY OF THE		
 V 二次評価	 (事業所属外による他部署評価)	

事後評価コメント		争录	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
₩ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 13 審査支払手数料経費

(単位:千円)

學来担当	所禹	15030000	倫仙保健	部 局野石	有倫仙誅					 	元 質 」	ᄕᅩ	
会計情報	事業コード	420513	款 02 保	険給付費	項 01	保険給付費	目	01 介護サー	-ビス等諸費	会計 1	5 介護保	:険 決算作	大属資料 頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者	の生活を	支援する							
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了	予定年度	令和2年	度 関連計	画名	第8次高齢	者保健福祉	止計画、第	7期介護	保険事業詞	十画
根拠法令等	介護保険	法											
事業区分	□ 法定受	き託事務	☑ 国府	輔助事業	口市	単独事業 [」内	部庶務的事	業 口 その	の他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事	事業へ統合	合 □ 他事	業を絹						
関連事業													
事業基礎性	青報												
事業目的 (あるべき姿)						が30%を超え 護保険事業運				する高齢者	が増加し	している。 ?	王宅福祉サービス、施設
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち	要介護・	要支援認	定を受けた者		対象者数	5,0	00	単位あ	たりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実	€施 □	業務委託		指定管理	□ 補助	金交	付 🗆	その他	()
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)						合付費請求に6 円/1件、令和3							
	支出に任	系る主な費目	支出	実績(R2)				主力	な業務内容	\$		
主な支出に係る 業務内容と経費							二次	公表時記	載				
	 伏況												

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年度	₹)	F	83(本年度	E)	R4	(要求年)	隻)
	1	当初予算			8,265			8,022			7,752			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			
,	小計	h(①~③)			8,265			8,022			7,752		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,,	<i></i>	*/
算	2	国支出金			2,221			2,165			2,193			
財源	3	府支出金			1,033			1,003			969			
内	4	地方債			0			0			0			
影	⑤	その他特財			5,011			4,854			4,590			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			8,265			8,022			0			0
情 報	3	執行額			7,585		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			91.8%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	_	160				160			160			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			7,745			160			160			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動車績	審査件数		件	122215	122334	/	_	120627	/	0	/	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.6		0.1						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0								

項目	助(争乗担当所属内による目□計 評価の観点	評価	評価の理由
7, 1		AT IIII	
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		を支えるために介護保険サービスは必要不可欠なものである。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		サービス利用単価、利用者負担等については、介護保険法で定められているため、市独自 の単価設定等はない。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		宣짜나지겠다는 자무호짜로 아들짜로 아기 아버럴 아버지는 걸까 수 그 때 보이 바까지 않는 것
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		Scholt 2 (4.1 4.2 art), 7
	介護保険事業計画に基づき、適正な事業通	護保険サ	が実施主体となっている。 ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期 こいる。審査支払手数料は、適正な介護保険給付費算定のために必要な事務的経費である。
事業の目的及び			
指標等の達成状況 対する定性的評価			
	今後も、高齢者の増加によりさらなる介護す 高齢になってもその人らしい生活が維持でき		の増加が見込まれる。 要なサービスを適正に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営を引
	◇和2年前については、第0次市齢孝児は第		護保険制度による法定給付事業であり見直しなし。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性	7 和3年及に 20、Cla、第3次向断有床健作	1位11四人	い 第6州 月 歳 体 灰 争 未 計
 VI 二次評値	 西(事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
411 1 lm 5 (2	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
 VIII 予算反明	山		
VⅢ J.昇及□	大 結 木 □ 現状維持 □ 廃止/休止	П.3.	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 5亿、地方 □ 5元 / 1/1/ 1	¬ 7	升1/4/10 以子类 (4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 10認定審査会運営

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

事業担当

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

会計情報	事業コード	420510	款 01 総	务費	項 03 介	護認定審査会費	目	01 介護認定	定審査会費	会計 15	介護保険	決算付属資	料
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	生活を支	援する							
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	定年度	令和2年度	関連計画	国名	第8次高齢	者保健福祉	止計画、第7	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	介護保険	法											
事業区分	□ 法定受	そ託事務 おおおお かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	□ 国府補	助事業	☑ 市単	鱼独事業 □	门内部	邻庶務的事	業 口 その	の他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃」	止/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	業を紛	合					
関連事業													
	 青報												
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		会を円滑に	開催し、適	Eな要介記	雙•要支援	認定を行う。							
事業目的 (あるべき姿)													
(2)													
対象者	第1号及び	第2号被保	険者のうち	要介護・要	更支援認定	を受けた者	文	付象者数	5,0	00	単位あたり	Jコスト	5.5
実施方法	☑ 直接実	厚施 ☑	業務委託	口指	定管理	口 補助金	全交付	t 🗆	その他	()
委託先•実施主体等		介護支援事				_							
	·委員報酬	₩:要介護認				や認定審査: 護認定審査会						員会議等へ	の出務があった際に
	報酬を支持		開の職員で	で非党勤の)‡.のの報	酬及び費用き	全僧!	- 関する条件	(Jail)				
事業概要 (箇条書き)	·主治医意	見書作成料	斗:介護認足	とに必要な	主治医意	見書の作成	こ係る	5手数料。					
(固木膏で)						≥5,000円、施 事業所への記						円、入所者	以外4,000円税抜)
	#31·3#·3			C 0 40 / C 4	,	, p(4/)/	-,		,,,,,	11 (2002)	, ,,,, ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	士山1-1	系る主な費目	э I ± ш	実績(R2)					-	な業務内容	1		
	又田[二]	ボる土は貧田	コース田	天禎 (R2)					土	よ未務内谷	•		
主な支出に係る 業務内容と経費							- vhz /	ᄊᆂᄔᇷ	*				
AND THE SERVICE						_	-火:	公表時記	AL.				

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	变)	R	2(評価年月	隻)		R3(本年度	E)	R4	(要求年月	隻)
	1	当初予算			9,214			55,905			56,996			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情報	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	₩ Abb		
,	小計	h(①~③)			9,214			55,905			56,996	プ 男 (3	編成時 次公表問	記人 ま)
予	1	一般財源			0			0			0	,,,	~~~	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			9,214			55,905			56,996			
決	1	流充用額			50		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			9,264			55,905			0			0
情 報	3	執行額			9,173		二次公	公表時記載			0			0
710		執行率			99.0%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.65	/	5.70	1.35	/	6.60	1.35	/	6.60	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		19,450				27,300			27,300			0
		マルコスト 可額+概算人件費)			28,623			27,300			27,300			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
(アウトカム)	介護認定者数(年間認定者数)	人	3946 / 4500	4,200	/	4,050	3,038	/	3,854	/	0
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3	最終目標
活動実績	審査会回数		回	128 /150	125	/	135	92	/	135	/	0
(アウトプット)		単位あたり	コスト	68.5		73.4						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/	0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

「項	日	、 事 耒 担 当 所 禹 内による目 C 評価の観点	評価	評価の理由
- 7			HI IIM	
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		するため迅速に事務処理をしていくものである。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	· σ Ο	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		被保険者証等重要書類は簡易書留で送付し確実に利用者が受け取ることを徹底している。 介護認定審査関係資料(調査・意見書)に係る経費は自己負担がなく、介護認定が必要な 方にとって申請(利用)しやすくなっている。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	利用者を待たせることのないよう、また、円滑な事務の推進のため、主治医意見書の定期的な督促や調査業務委託の迅速な対応に努めている。
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	=	適正な事務処理により要介護認定及び結果の通知を行い、適切な介護サービスの利用につなげられている。
有:	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		な資料(主治医意見書)等が期限内に捕	前わないこともあ	30日以内に結果通知すべく適正な事務処理を実施できるよう努めているが、審査会に必要5り、被保険者のサービス利用に支障をきたすことがある。資料の収集については、適宜督促ができるよう、適正な審査会運営に努める必要がある。
***	- 44 T. **		10217 000	C SOLVE CHE ENCEL 1-130 SOLVE SOU
	目的及び 達成状況に			
対する元	性的評価			
				fの早期のサービス利用が可能となるよう、コロナ禍においても事務手続き等を遅滞なく進め
		るための適切な方法を検討し、適正な週 令和3年度については、第9次高齢者保		。 び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
	の課題及び D方向性			
,,,,	· / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
<u> </u>	次評価(事業所属外による他部署評	2価)	
車 绘 詞	価コメント		車機	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
学该们	川山ノント		**************************************	会計画失応後に記載(対象学条のの/
·····································	 P価をふま	 えた次年度事業方針		
7.7. 2	, , , , , , , , ,	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課の の見直し			
	及び 要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
F 37- 3	エベノノド			(0)(2)(1)
	算反映			
予算反	反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 写解減
		□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

事業名 06 賦課徴収業務 事業担当 所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之 事業コード 420506 款 01 総務費 項 02 徴収費 会計情報 目 01 賦課徴収費 会計 15 介護保険 決算付属資料 施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する 施策体系 開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画 計画期間 根拠法令等 介護保険法 事業区分 □ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 関連事業

	青報						
事業目的 (あるべき姿)	保険料(第1号被保険者2: 少子高齢化が進む中で、 事業運営を行うことができ	本市においても高	齢化率が30%を超え、	介護保険サー	ビスを利用する高齢者	が増加している。適	
対象者	65歳以上の第1号被保険	者		対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	京都電子計算株式会社、	地銀ネットワークサ	トービス株式会社、提携	鳥コンビニエン に	スストア		
事業概要 (箇条書き)	・介護保険料の賦課、徴リ ・介護保険料のコンビニ収		艾及び封入封緘業務 委	託			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	!載		

Ⅲ 予算執行状況

	Z	5 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	()	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			3,980			7,877			7,809			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		- ^=	
,	小計	†(①~ ③)			3,980			7,877			7,809		「編成時 次公表	
₹	1	一般財源			0			0			0	,,	·>(N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
泥	⑤	その他特財			3,980			7,877			7,809			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,980			7,877			0			0
情報	3	執行額			2,621		二次公	公表時記載			0			0
ŦX		執行率			65.9%		二次公	公表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.45	/	0.40	0.57	/	0.30	0.57	/	0.30	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		4,600				5,310			5,310			0
		マルコスト (7,221			5,310			5,310			0

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	介護保険料収	納率(現・滞)	%	98.4	98.57	/	98.47	98.98	/	98.55	/	99	99
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	介護保険料収	納率(現年)	%	99.36	99.49	/	99.41	99.64	/	99.44	/	99.5	99.5
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		26.3							
実績/計画	介護保険料繰	越率(普徴)	%	9.47	7.54	/	9.32	5.18	/	9.2	/	7.6	7.6
		単位あたり	コスト	0.0		347.6							

(単位:千円)

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

V 一次評価(事業担当所属内による自己評	価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	介護保険料を賦課し徴収するために必要な事業である。 また、納付義務者の利便性を考慮した納付場所の充実と収納率向上のために必要な事業である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		第1号被保険者全員に郵送していた介護保険パンフレットを、必要最低限の情報をまとめたチラシに替えることで、印刷製本費と郵送料のコスト削減に努めている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		介護保険事業を適切に運営していくためにも堅実な賦課徴収業務が必要である。 口座振替の勧奨や、納付場所の確保(コンビニやスマホ決済)、未納明細の送付を行うな ど、保険料の滞納にならないように努めている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 介護保険法により介護保険事業運営は市町	·++	} } } } }
			主体である。 長不可欠なものとなっており、福知山市では第8次高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	現年度分、滞納繰越分ともに収納率が上昇 にならずに徴収が出来ているものと考える。	しており、全	全体の保険料収納率は少しずつ上昇している。また、普通徴収繰越率は減少しており、滞納
		- 	
これまでの課題及び 今後の方向性	められている。そのためにも堅実な保険料の	るよう、必	要なサービスを適切に供給できる体制づくりが必要であり、適切な介護保険制度の運営が求
	 事業所属外による他部署評価)	
	7/2/// 11-00-10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-1		
事後評価コメント		争来	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
//// 又答曰吐	小田		
VⅢ 予算反映紀	語 朱 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減
予管反映結用			

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 03介護保険事業運営 |

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000	福祉保健部 高齢者	冨祉課		所属長	荒賀 正之	
会計情報	事業コード 420503	款 01 総務費	項 01 総務管理費	目 01 一般管理費	会計 15	介護保険 決算付属	属資料 頁
施策体系	施策コード 050502	施策名高齢者の	生活を支援する				
計画期間	開始年度 平成12年	度終了予定年度	6和2年度 関連計画	名 第8次高齢者保健福祉	业計画、第7	期介護保険事業計	画
根拠法令等	介護保険法						
事業区分	□ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事業 口 そ	の他()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃	上/休止 🗆 他事業	たれ合 口 他事業	を統合			
関連事業							
── 事業基礎性	 青報						
事業目的 (あるべき姿)	少子高齢化が進む中			介護保険サービスを利用 きを行うことを目的とする。		が増加している。在	宅福祉サービス、施設
対象者	福知山市が保険者の	第1号被保険者及び第	52号被保険者	対象者数 23,	000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑	業務委託 □ 指	定管理 🗆 補助金	交付 口 その他	()
委託先•実施主体等	京都電子計算株式会						
事業概要 (箇条書き)	導等を行うための事	8的経費。		給付管理(介護サービス: 関する研修、集団指導等の			一ビス事業者の指定・指
	支出に係る主な費	支出実績(R2)		主	な業務内容		
主な支出に係る業務内容と経費			=	次公表時記載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年	支)
	1	当初予算			57,755			12,450			12,496			
予	2	補正予算			△ 14,922			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越		0			0				0			
,	/s計	+(① ~ ③)			42,833			12,450			12,496		「編成時 次公表	
₹	1	一般財源			0			0			0	,,,	<u> </u>	47
算	2	国支出金			0	0					0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			42,833	12,450					12,496			
決	1	流充用額			1,833		二次:	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			44,666			12,450			0			0
情 報	3	執行額			42,478		二次:	公表時記載			0			0
ŦX		執行率			95.1%		二次:	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.60	/	0.00	0.39	/	0.17	0.39	/	0.17	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		4,800				3,545			3,545			0
		アルコスト (47,278			3,545			3,545			0

成學字籍	指 標		単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)		0		0	0	/	0		/	0	/		0
実績/目標			0	0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	事業所実施指導件数		件	10/10	19	/	19	13	/	18	/		-
活動実績(アウトプット)		単位あたり	リコスト	1620.0		2235.7							
実績/計画	資格付与人数	格付与人数 人		903		915		865	/	0	/		0
		単位あたり	リコスト	17.9	46.4								

	事業担当所属内による自		都体の項中
項目	評価の観点	評価	評価の理由 小護保険法により介護保険事業運営は市町村が実施主体である。高齢者の生活を支える
	・市民や社会のニーズを的確に捉え† 事業か	Έ	月 歳床映広により月歳床映事業建当は11回1行が実施主体である。同断日の主店を文える ために介護保険サービスは必要不可欠なものとなっている。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	ا O	
	・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か	`	
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		システム等による一元管理により、一定の効率化は図られている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	•	
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	刀に	高齢化が進む中、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加などに対応するため、介護保険サービスの充実は必要不可欠である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか		
	介護保険事業運営は、介護保険法に 高齢者が安心して生活していくために 介護保険事業計画に基づき、適正な	は、介護保険サー	ービスは必要不可欠なものであり、本市においては、第8次高齢者保健福祉計画及び第7期
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	今後、高齢者の増加によりさらに介設 高齢になってもその人らしい生活が維 き続き行っていく。		加が見込まれる。 要なサービスを適切に供給できる体制づくりが必要であり、適正な介護保険制度の運営を引
これまでの課題及び		保健福祉計画及び	パ第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。
今後の方向性			
·	[事業所属外による他部署	評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
	<u> </u> えた次年度事業方針		·
111 =1 lm = 13.8	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し及び			予算編成に記入 (2枚公寓味)
予算要求方針			(3次公表時)
L VⅢ 予算反映á	·		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

車 堂屋 性

(単位:千円)

爭業属性	
事業名	74 外国人等介護職員雇用推進事業
事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之
会計情報	事業コード 420274 款 03 民生費
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する
計画期間	開始年度 令和2年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 第8次福知山市高齢者保健福祉計画
根拠法令等	福知山市介護職員雇用奨励金交付要綱、福知山市外国人介護人材家賃補助金交付要綱
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	<u>介護人材確保対策事業</u>
── 事業基礎性	青報
事業目的 (あるべき姿)	介護人材不足に対応するために市外や外国からの人材確保を行う法人に対し支援を行い、介護サービスの充実を図る。
対象者	転入を伴い巾内事業所に就職する介護職員及ひ外国人介護職 員 対象者数 30 単位あたりコスト 13.3
実施方法	□ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 ☑ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	
官幸福面	・福知山市介護職員雇用奨励金 市外から転入を伴い正規職員として介護施設等に就職された方(日本人、外国人介護人材)の人数に応じて、採用法人に5万円/人を交付する。 ・福知山市外国人介護人材家賃補助金 外国人介護人材の住居を法人が借り上げる場合に、借り上げた住居の賃料の1/2(上限2万円)を補助金として交付する。

主な支出に係る 業務内容と経費 支出に係る主な費目 支出実績(R2)

事業概要 (箇条書き)

二次公表時記載

主な業務内容

Ⅲ 予算執行状況

	Z	了昇靱仃1 【 分		P価前年	度)	R	2(評価年度)		R	3(本年度)	1	R	4(要求年	度)
	1	当初予算			0			2,300			4,200			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	A		-
,	小計	†(①~ ③)			0			2,300			4,200	プ 身 ()	[編成時 次公表	記人 詩)
予	1	一般財源			0			0			0	,,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.47
第	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			0			2,300			4,200			
決	1	流充用額			0		二次公表	寺記載			0			0
算		配当予算			0			2,300			0			0
情報	3	執行額			0		二次公表	寺記載			0			0
+HX		執行率			0.0%		二次公表	寺記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.05	/		0.05	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		0				400			400			0
		タルコスト			0			400			400			0

成果実績	指 標		単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	雇用奨励金交	付対象者数	人	0	0	/	0	12	/	22	/	30	40
実績/目標	外国人介護技能実	習生等の受入人数	人	0	0	/	0	11	/	0	/	15	25
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	外国人介護人材家賃	補助金利用事業所数	事業所	0	0	/	0	7	/	4	/	5	5
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.0							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0	•	0.0	•						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		高齢化に伴い高まる介護ニーズに対応するため、介護人材の確保は重要な課題であり、優 先度も高い。
	事業か		JUIZ TIGIV's
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		家賃補助については補助率を1/2とする、また、雇用奨励金については1人につき1回限りの 交付としており、妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		近隣他市にない本市独自の制度であり、本市の介護人材確保に貢献している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	制度開始初年度であるが、制度利用は順調	に行われて	- เกล
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	▲和9年度の9月以際を対象して明仏した	古坐ぶたて	ナル 会和2年度に左眼辺」での古紫林田笠を図る
	令和3年度については、第9次高齢者保健福		ため、令和3年度に年間通しての事業効果等を図る。 基づき事業を実施していく。
これまでの課題及び 今後の方向性			
7 500 73 17 12			
 - VI 二次評価(〔事業所属外による他部署評価	i)	
V1 - 7551 (m.)	4 36111111111111111111111111111111111111		
事後評価コメント		古 卷	注評価実施後に記載(対象事業のみ) ・
予後肝臓コノンド		77.7	に打脚大心後に記載(M)系字末のクク/
VII 評価をふま I	えた次年度事業方針		毎年ナ映ナニト 日本一 小中
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映	結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課	所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課 所属長 荒賀 正之										
会計情報	事業コード 420270 款 03 民生費 項 01 社会福祉費	目 03 老人福祉費	会計 01 一般会計 決算付	属資料 頁								
施策体系	施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する											
計画期間	開始年度 平成30年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画	名 第8次福知山市高齢	者保健福祉計画									
根拠法令等	京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金交付要綱、福	知山市地域密着型サービ	ス等整備助成事業補助金交付	要綱								
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □	内部庶務的事業 口 そ	の他 ()								
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業	を統合										
関連事業												
── 事業基礎』	- 青報											
事業目的 (あるべき姿)	也域における適切な介護サービスの提供体制の促進を目的とした介護施設の整備事業及び円滑な開設を支援する。											
対象者	介護サービス事業者	対象者数	単位あたりコスト	293.3								
実施方法	□ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 ☑ 補助金	交付 口 その他	()								
委託先·実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	上記目的のため、介護施設において新型コロナウイルス感染拡大リスクの低減を図るための簡易陰圧装置又は換気設備を設置する民間事業者に 対し、京都府の補助基準に従い、必要な経費を助成する。(介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業) (補助上限額) ①簡易陰圧装置設置分 1台当たり 4,320千円 ②換気設備設置分 4千円/㎡(延べ床面積) (補助対象事業者) 令和2年度:①社会福祉法人仙人福祉事業会、株式会社ルネスアソシエイツ ②医療法人福知会 整備内容及び補助額〕 ①簡易陰圧装置設置分 5,170千円(社会福祉法人仙人福祉事業会)、693千円(株式会社ルネスアソシエイツ) ②換気設備設置分 3,465千円(延べ床面積4,426㎡)(医療法人福知会)											
	支出に係る主な費目 支出実績(R2)	主	な業務内容									

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1(評価前年原	芰)	R2	(評価年度)	R	3(本年度)		R4	(要求年月	₹)
	1	当初予算		#N/A			0			0			
予	2	補正予算		#N/A			12,320			0			
算情	3	繰越予算		#N/A			0			0			
惰報		前年度繰越		#N/A			0			0			
		次年度繰越		0					0	Tr Air	4≅ -1 n+ ε		
,	ト計	+(① ~ ③)		#N/A			12,320			0		編成時間 次公表問	
予	1	一般財源		#N/A 0 0					0	,,,,		• ′	
算	2	国支出金		#N/A	0					0			
財源	3	府支出金		#N/A	12,320					0			
内	4	地方債		#N/A	0					0			
影	⑤	その他特財		#N/A			0			0			
決	1	流充用額		#N/A		二次公	表時記載			0			0
算	2	配当予算		#N/A			12,320			0			0
情 報	3	執行額		#N/A		二次公	表時記載			0			0
ŦIX		執行率		#N/A		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	#N/A /	#N/A	0.11	/	0.00	0.11	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	#N/A				880			880			0
		アルコスト f額+概算人件費)		#N/A			880			880			0

二次公表時記載

- 17 /K//X 10 /K												
成果実績	指標		単位	H30	R1	R1		R2		R3		最終目標
(アウトカム)	カム) 必要整備施設		数	#N/A	#N/A /	#N/A	3	/	#N/A	/		#N/A
実績/目標				#N/A	#N/A /	#N/A		/	#N/A	/		#N/A
	指	標	単位	H30	R1			R2		R3		最終目標
活動実績	補助対象事業者		数	#N/A	#N/A /	#N/A	3	/	3	/		#N/A
(アウトプット)		単位あたり	コスト	#N/A	#N/	4						
実績/計画				#N/A	#N/A /	#N/A		/	#N/A	/		#N/A
	単位あたりコスト		#N/A	#N/	4							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項		(事業担当所属内による目亡を評価の観点	評価	評価の理由
- 7	<u> </u>		HI IIM	事業目的は保険者(市)としての必須業務であり、府制度に準拠し、実施している。
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		整備が必要となる事業所に対する補助として必要な事業である。
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助金の割合は、府交付要綱により規定されており、府補助率10分の10により実施されている。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		事業目的を達成するため、事業を直接実施しようとする事業者に対し、保険者が支援するた
		・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか		めの有効な手段である。また、効率性にもあるように、府(国基金)補助金を活用したものであり、本事業の対象となるメニューには社会情勢等を加味したものもあり、事業者にとって活
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	0	用しやすいものとなっている。
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		新型コロナウイルス感染症の拡大を防止す を募ることにより、必要な事業所への適切		新たに拡充されたメニューについて、市内各サービス事業所へ速やかに周知し、実施事業者 なげることができた。
事業0	の目的及び			
	D達成状況に 定性的評価			
			一心亜む車割	業に対する補助制度として、サービス事業者が活動しやすいよう、京都府と連携し、事業者に
				に努めるとともに、活用事業者に対しての適切な説明・指導を行う。
-4-	の課題及び			
	の方向性			
\/I	一分証年	 (事業所属外による他部署評値	#. /	
VI -	一人計価	(事業が高がによる他的者計)	ш)	
東後 書	呼価コメント		*	関係の表現を表現しています。 (対象事業のみ)
→ 1× 1	十川山一グント		7 73	R計画大心伎に配収(対象争未のの)
<u> </u>	評価をふる	 まえた次年度事業方針		<u>, 1</u>
VII T	- 1 Im C 431,	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
抽	当課の			
事業	コ い 見直し 及び			予算編成に記入
	要求方針			(3次公表時)
, VIII -	予算反映			
予算	反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	口予	算拡充 □ 予算縮減
		□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

Ī	導	事業属性																
			37 高齢者福	祉一般管	理事業	ŧ												
		業担当					高齢者福祉課					Ē	「属長	荒賀 I	E之			
		計情報		420237	款 03	民生費	項 01	社会福祉	費 目	03 老人	福祉費			一般会		[付属資	料	頁
		策体系	施策コード 05				齢者の生きが											
	計正	画期間					F度 令和3年		計画名									
		法令等																
		業区分	□ 法定受託	事務		存補助事	事業 口市	単独事業	口内	R 底務的	事業 [コ その他	. ()
F		在の状況	☑ 継続中	□ 廃⊥			他事業へ統合		也事業を約		, ,,, _		• •					
		連事業	_ 1_1001				12 7 714 170		3, 1,10,1									
11		事業基礎作																
	事業	業目的 べき姿))推進を図	図る。(名	各事業実	ミ施のための-	−般事務費	<u>;</u>)									
	対	象者							3	才象者数				単位あ	たりコス	۱.		
	実施	施方法	☑ 直接実施		業務委	託	□ 指定管理	□ネ	献金交付	† [] その	他 ()
委計	先·	実施主体等																
		業概要 条書き)																
			支出に係る	主な費目	支	5出実績	(R2)					主な業	務内容	1				
*	務内	出に係る日容と経費	מי וו						二次	公表時	記載							
	区 区	予算執行》 分		評価前年	= r#= \		Da	(評価年度	F)			R3(本年)	* 1			DA (要求年度	Fl
	_	<u>カ</u> 当初予算	KI	. 유士 이 이 아	十段)	2,999	r.z	、一川川十ら	2,7	05		73 (本十)	义/	2,778	_	R4(女不干点	£/
予		ョ粉ァ発 補正予算				2,999			2,1	0				2,778				
算情		繰越予算				0				0				0				
惰報	0	前年度繰越				0				0				0				
TIA		次年度繰越				0				0				0				
,	 	(1)~(3)				2,999			2,7					2,778		予算	編成時言 V公表明	己入
		一般財源				2,984			2,7					2,761		(3)	で公表 に])
予算	_	国支出金				0				0				0				
財		府支出金				0				0				0				
源内	4 :	地方債				0				0				0				
訳	⑤ ·	その他特財				15				17				17				
	1	流充用額				Δ 14		二次分	\表時記	載				0				0
決算	② i	配当予算				2,985			2,7	95				0				0
情	3	執行額				2,527		二次生	〉表時記	載				0				0
報		執行率				84.7%		二次红	〉表時記	載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.24	/	0.	05	0.25	/	0.10		0.25	/	0.	.10	0.0	0	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,045					2,2	50				2,250				0
		ルコスト				4,572			2,2	50				2,250				0
(予算	¥X1T省	額+概算人件費)																
		子 (年 717 7元																
		≹績指標	+le:	+207		出工	1100			1		DO			Da			绞口+≖
IV	成	果実績	指	標	^	単位	H30		F			R2	^		R3		最	終目標
IV	成り		指	標	0		0		0 ,	0		/	0		/		最	0
IV	成り	果実績 フトカム)			0		0		0 ,	0		/	0		/			0
IV	成り	果実績 フトカム)	指	標		単位	0 0 H30		0 , 0 ,	0 0		/ / R2	0		/ / R3	1		0 0 終目標
IV	が成り、実施を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	果実績 フトカム)		標置数		単位人	0		0 , 0 ,	0 0 1	1	/			/	1		0

単位あたりコスト

0.0

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項	目	評価の観点	評価	評価の理由
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		円滑な事務の推進のため必要である
		事業か		
必引	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		必要な事務用品等でも一時的に必要なものについては、他課から借りたり、自作するなど、 工夫してコスト削減に努めている
効፮	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		円滑な事務の推進のため必要である
有,	物 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		本事業については、高齢者福祉課による一個)	般管理事業	きであるため、各種事務事業の円滑な推進及び事業実施のため引き続き必要である(定性評
	目的及び 達成状況に			
対する定	性的評価			
		 円滑な事務の推進及び事業実施のため引き	き続き必要が	な事業である。
				命者福祉課と地域包括ケア推進課に分かれる。
	D課題及び)方向性			
, , ,				
\ <u>\</u> \ -	次評価(事業所属外による他部署評価	;)	
		(4 米川岡川に及る100円旧町		
± 44 == 1	·		علقد حشو	
学俊評1	面コメント		争未	評価実施後に記載(対象事業のみ)
	価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	課の			
及)見直し :び :			予算編成に記入 (3次公表時)
予算要	求方針			(3次公衣時)
VIII 予	算反映網			
予算反	映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 晩本/休止 □ 晩本/	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
		□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 「統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 29 老人福祉施設改修事業 29 老人福祉施設改修事業

(単位:千円)

事業担当	所属	15030000	福祉保健部	高齢者	福祉課					所属:	長	荒賀 正之	-		
会計情報	事業コード	420229	款 03 民生	費	項 01 社会	会福祉費	目	03 老人福	祉費	会計	01 -	一般会計	決算付属資	料	頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	生活を支援	する									
計画期間	開始年度	令和2年	度 終了予!	定年度 2	令和2年度	関連計画	i名								
根拠法令等															
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単独	事業 口	内部	『庶務的事	業 □ その	D他	()
R3現在の状況	□ 継続中	☑ 反 廃』	上/休止	□ 他事業	業へ統合	□ 他事業	を紡	合							
関連事業															
	 青報														
事業目的 (あるべき姿)	本市の指うるようにす		である福知	山市高齢	者福祉センタ	タ一及び福金	知山	市高齢者生	生活福祉セン	ノターの	機能	保全を行	い、利用者 <i>!</i>	が安心して利用	でき
対象者	高齢者福祉	业センター、	高齢者生活	福祉セン	ター利用者		文	象者数	10	00	į	単位あたり	リコスト	7.2	
実施方法	☑ 直接実	施	業務委託	口指	定管理	□ 補助金	交付	t 🗆	その他	()
委託先·実施主体等															
事業概要 (箇条書き)			昇降機他修 夕一生活支		居室ほかエ	アコン更新	工事								
	支出に係	系る主な費目	支出乳	 [績(R2)					主な	は業務内	内容				
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次:	公表時記	載						

|| 予算執行状況

	2	了 昇 乳 仃 化 【 分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	_	当初予算	#N/A			W(X4+X)
予	2	補正予算	#N/A	0	0	
算情	3	繰越予算	#N/A	0	0	
報		前年度繰越	#N/A	0	0	
		次年度繰越	#N/A	0	0	T Mr. 45 1. n + 27 7
,	小計	†(①~ ③)	#N/A	5,300	0	予算編成時記入 (3次公表時)
予	1	一般財源	#N/A	700	0	(00111111111111111111111111111111111111
第	2	国支出金	#N/A	0	0	
算財源		府支出金	#N/A	0	0	
内	_	地方債	#N/A	4,600	0	
訳	_	その他特財	#N/A	0		
決	1	流充用額	#N/A	二次公表時記載	0	0
算		配当予算	#N/A	5,300		0
情報	\vdash	執行額	#N/A			0
		執行率	#N/A			
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	#N/A / #N/A	0.09 / 0.00	0.09 / 0.00	0.00 / 0.00
	٠.	概算人件費	#N/A	720	720	0
		タルコスト (#N/A	720	720	0

成果実績	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
(アウトカム)				#N/A	#N/A / #N/A	/ #N/A	/	#N/A
実績/目標	#N	/ A	#N/A	#N/A	#N/A / #N/A	/ #N/A	/	#N/A
	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動実績	実施修繕 工事		件	#N/A	#N/A / #N/A	2 / #N/A	/	#N/A
(アウトプット)		単位あたり	コスト	#N/A	#N/A			
実績/計画			#N/A	#N/A	#N/A / #N/A	/ #N/A	/	#N/A
		単位あたり	コスト	#N/A	#N/A			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

▼ 項		. 町 1	→ 兼 担 当 所 偶 内による目 □ 評価の観点	評価	評価の理由
-30		•	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	RI IIM	利用者が安心して施設を利用するために必要な事業であり、市の施設であるため市で修繕
			事業か		等を行う必要がある。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	o 0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		財務規則に基づき業者選定をしているため、効率性は保たれている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		TIME TO SECOND TO THE TIME TO THE TOTAL TO T
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		利用者が安心して施設を利用できるようになっている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			【定性的評価】老朽化や設備の故障等に	より施設利用	に支障をきたすことのないよう、計画に基づき修繕・改修を行った。
事業の 指標等の 対する!)達成	状況に			
			画施設とも老朽化しており、今後も修繕	て声学ぶり声	5 L+> 7
これまで 今後	・ の方i				
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	平価コ	メント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII à	評価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
事業	当課(の見) 及び 要求フ	直し			予算編成に記入 (3次公表時)
VIII 3	予算	反映約	告果		
予算	反映律	吉果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート - 事業属性

(単位:千円)

事業名	28 在日外国人高齢者福祉組	給付金支給事業							
事業担当	所属 15030000 福祉係	保健部 高齢者福	証社課		所属	荒賀 正次	<u></u>		
会計情報	事業コード 420228 款 03	3 民生費	項 01 社会福祉費	目 03 老人福	祉費 会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード 050502 施策	音名 高齢者の生	上活を支援する						
計画期間	開始年度 平成元年度 終	冬了予定年度 令	和3年度 関連計画	名					
根拠法令等	福知山市在日外国人高齢者	首福祉給付金支 約	哈要綱						
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国	府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休」	止 口 他事業	へ統合 口 他事業	を統合					
関連事業									
事業基礎	青報								
	老齢年金等の支給を受ける	ことのできない高	高齢者に対し、給付金を	支給すること	で高齢者福祉の充実	実を図る。			
事業目的									
(あるべき姿)									
対象者	老齢年金等の対象外である	在日外国人		対象者数	1	単位あた	りコスト	80.0	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務署	委託 □ 指定	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他 ()
委託先·実施主体等									
	国民年金制度の改正によりきない高齢者に対し、給付金		日から在日外国人高齢	計	金法が適用された	際、同法の老	齢年金等の支給	を受けること	こので
	このの同間に口に対し、作口が立								
事業概要									
(箇条書き)									
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容			
主な支出に係る									
業務内容と経費			=	次公表時記	載				
── 予算執行	伏況								
区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求	(年度)	
① 当初予算		120		120		120			

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年度	E)		R3(本年度	:)	R	1(要求年)	变)
	1	当初予算			120			120			120			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T 4		6 0.3
,	小計	+(① ~ ③)			120			120			120	7·J	「編成時 次公表	記人 詩)
予	1	一般財源			120			120			120	,,	V 1 11.	N /
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			120			120			0			0
惰報	3	執行額			120		二次化	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			100.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		80				80			80			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			200			80			80			0

IV 業績指標

成果宝績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績(アウトカム)	支給率		%	100/100	100	/	100	100	/	100	/	100	100
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	支給対象者数		人	1/1	1	/	1	1	/	1	/		1
(アウトプット)		単位あたり	コスト	120.0		120.0							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0	,								

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項		目 - 81 1m(● 兼 担 当 所 偶 内 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
		<u>-</u>	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		制度を受けられない方への給付金であるため、必要である。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		3ヶ月に一度の給付であり、効率性はよい。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		制度の受けられない方への給付金であるため、有効と考えられる。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	ロかこから	
			きない高齢者への給付金であり、対象者へ		
事業の					
指標等の対する					
				日から左口	日外国人高齢者にも国民年金法が適用された際、同法の老齢年金等の支給を受けることので
			きない高齢者への給付金であり、現在の対		
これまで 今後	:の課 の方I				
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評価	i)	
				بلاد ساب	
事後許	半価コ	メント		争業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
\ \m\ \cdots		طد د طد	* .L .V Per . per		
VII §	泮伳	をふま	えた次年度事業方針 方針区分		評価を踏まえた見直し内容
			73 51 IC /J		IT 関心場のハルル風UF7で
事業	当課の見	直し			予算編成に記入
	及び 要求:				(3次公表時)
VIII	予算	反映紀	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
予算	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 27 老人福祉施設管理事業

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000	福祉保健部 高齢者	首福祉課				所属長	荒賀 正之			
会計情報	事業コード 420227	款 03 民生費	項 01 社会	会福祉費	目 03 老人	福祉費	会計 0	1 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード 050502	施策名 高齢者の	D生活を支援 [・]	する							
計画期間	開始年度 平成29年	度終了予定年度	令和3年度	関連計画	名						
根拠法令等											
事業区分	□ 法定受託事務	□ 国府補助事業	☑ 市単独	事業 🗆	内部庶務的	事業 口 その	の他()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃」	L/休止 🗆 他事	業へ統合	□ 他事業	を統合						
関連事業											
	 青報										
1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	老人福祉施設を安全	央適に利用いただく	ために維持管	理を行う。							
事業目的 (あるべき姿)											
対象者	高齢者				対象者数	23,0	000	単位あたり	Jコスト	0.1	
実施方法	□ 直接実施 ☑	業務委託 ☑ 扌	指定管理	□ 補助金	交付 [」その他	(-)
委託先•実施主体等	(社福)福知山学園、(社福)清和会みわ、	姫路ナブコ(村	朱)							
事業概要 (箇条書き)	・高齢者福祉課所管施・老人デイサービス及・地元老人クラブ等高 (所管施設) ・福知山市高齢者福祉	び居住部門である生 齢者の活動の場	活支援ハウス								
	支出に係る主な費目	支出実績(R2))			主力	な業務内容	ř			
主な支出に係る 業務内容と経費				=	次公表時	記載					

Ⅲ 予算執行状況

	Σ	5 分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年度	E)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			31,912			31,588			32,261			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	To he		8 0. 3
,	小言	†(① ~ ③)			31,912			31,588			32,261		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			30,668			29,545			29,304	,,	<u> </u>	N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			1,244			2,043			2,957			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			31,912			31,588			0			0
情 報	3	執行額			31,651		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			99.2%		二次位	公表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.23	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,240				1,840			1,840			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			33,891			1,840			1,840			0

成果実績	指標		単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	機能不全によ	る稼動休止日	П	0 / 0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
実績/目標	生活支援ハウ	ス稼動率	%	87.5/100	58.8	/	100	57.7	/	100	/	100	100
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	事故件数		件	0/0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0									
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			<u> </u>						

□ ▼ 一次評価(、 争 来 担 当 所 偶 内 による目 亡 計 評価の観点	評価	評価の理由									
7, 1		аг пш	・市民の生活環境の確保として、民間だけでは担えないサービスとして必要性が高い。									
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	・市の考え方として業務委託になるが民間事業者にも担えると考える・安全快適な施設利用のため必要である・本用途としては市内唯一の施設であるが、利用者が施設の存する地域住民に限定されており、また、近隣に類似機能を持つ公共施設が存在する。									
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か											
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・国が示した負担基準であり収入に応じた負担となっている。 ・長期継続契約の活用を行っている ・地元老人会が日常の維持管理は実施している。									
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	・施設維持管理経費のみ市負担としている。									
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		+									
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・在宅生活に不安がある中で介護保険施設以外の居住部門の提供として有効に活用されている。 ・本用途としては市内唯一の施設であるが、利用者が施設の存する地域住民に限定されて									
有効性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	おり、また、近隣に類似機能を持つ公共施設が存在する。									
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		### 181M-4-7-1									
	望者の身体状況により受け入れが厳しいケ	ースもある	帯等が増加する中で退院後の受け皿としてのニーズが高いが、入居者の長期化と、入居希 。10室と限られた部屋数であり入居の長期化を見直す必要がある。 . 地元老人会等が限定的に利用しており、地元との合意形成により譲渡を進める必要があ									
事業の目的及び	る。	0 2201-1										
指標等の達成状況に 対する定性的評価												
	・公共施設マネジャント実施計画の由で民間	活力を相関	野にいれ民間譲渡を計画している。譲渡条件の整理を行い指定管理者と協議を行う必要があ									
	వ .		复数の地域が開放型自治会館として利用できるよう(地域における貸館機能を有する施設とし									
これまでの課題及び	て運用できるよう)、維持・更新等に補助制度も検討し、地域が地域の施設として管理運営を行っていけるよう支援する。											
今後の方向性												
 V 二次評価(事業所属外による他部署評価	i)										
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)									
 	 えた次年度事業方針											
VII 計価をいま	えたが、中及事業の町 方針区分		評価を踏まえた見直し内容									
担当課の	751-77		NI BIS CHI CACADELO: 3 E.									
担当味の 事業の見直し 及び			予算編成に記入									
予算要求方針			(3次公表時)									
//// 又質に吐	7 田											
VⅢ 予算反映系	治 禾 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減									

□ 他事業を統合 (統合事業名:

予算反映結果

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 18 高齢者保健福祉計画推進事業

(単位:千円)

學来担当)	15030000	福祉保健部	局斷石偏仙	は詳					門馬長	亢質 止乙		
会計情報	事業コード	420218	款 03 民生	費項	01 社会	福祉費	目 03	3 老人福	祉費	会計 01	一般会計	決算付属資	料
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活	舌を支援す	トる							
計画期間	開始年度	平成9年	度 終了予定	年度 令和	12年度	関連計画	名第	8次高齢	者保健福祉	业計画、第	7期介護保険	事業計画	
根拠法令等	老人福祉	法、介護保障	険法										
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補助	事業 🗆	市単独	事業 🗆	内部原	庶務的事	業 口 その	の他()
R3現在の状況	☑ 継続中	継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業													
事業基礎	青報												
事業目的 (あるべき姿)	給量)を設	定し、それ		保険料額を	決定する	など、介護	保険σ)計画的	推進を図る	。また、社会	会情勢や今後	の人口構	設整備、在宅介護供 造の変化への対策を
対象者	高齢者対	策協議会					対針	象者数	2	4	単位あたり:	コスト	150.0
実施方法	☑ 直接実	€施 □	業務委託	□ 指定管	管理	□ 補助金	交付		その他	()
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	事業等の	進捗状況の		方向性等に									を開催し、各施策や 齢者保健福祉計画
	支出に信	系る主な費用	1 支出実	績(R2)					主	な業務内容	!		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	.次公	表時記	載				
予質劫行	少:7												

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	₹3(本年度	:)	R	4(要求年)	支)				
	1	当初予算			4,576			3,417			717							
予	2	補正予算			0			0			0							
算情	3	繰越予算			0			0			0							
報		前年度繰越	0				0 0											
		次年度繰越			0		0 0											
,	小計	+(① ~ ③)			4,576			3,417			717		「編成時 次公表					
予	1	一般財源			3,076			2,802			547	,,	·>(N /				
	2	国支出金			0			0			0							
算財源	3	府支出金			1,500			615			170							
内	4	地方債			0			0			0							
別	⑤	その他特財			0			0			0							
決	1	流充用額			14		二次公	公表時記載			0			0				
算	2	配当予算			4,590			3,417			0			0				
惰報	3	執行額			3,167		二次公	公表時記載			0			0				
¥		執行率			69.0%		二次公	公表時記載										
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.45	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00				
工算	2	概算人件費		2,000				3,600			3,600			0				
		アルコスト (預・概算人件費)			5,167			3,600			3,600			0				

成甲宝績	成果実績 指標		単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	計画の目標達	成度	%	-/100	-/100	/	0	22	/	100	/	-	100
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	高齢者対策協	議会の回数		2/2	0	/	2	3	/	5	/	2	5
(アウトプット)		単位あたり	コスト	228.5									
実績/計画	単位あたりコ			/	0	/	0		/	0	/		0
			コスト	0.0									

□ ▼ 一次評価	(事業担当所属内による目巳評 評価の観点	神価	評価の理由									
74 1		HT IM										
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		はじめとした高齢者福祉施策の方針を示すものであり、策定しなければならない。									
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0										
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か											
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		本計画の基礎資料となる調査や計画策定事務については委託しているが、統計学や法律等専門的な知識が必要であることや事務効率の観点からも今後も同様の取り扱いが望ましいと考える。									
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0										
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか											
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢者対策協議会において、十分に議論いただいている。									
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0										
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか											
	令和2年度には、新型コロナウイルス感染症	の影響に。	、高齢者対策協議会にて意見を聴取しながらPDCAを回していく。 より、例年より会議の開催回数は減少したものの、高齢者対策協議会を3回開催し、令和3年									
古書の日始及び		目標達成度	としており、計画に記載している数値目標の達成度について記載した。高齢者を対象に行う									
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	事業のため、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、目標値に達することのできない取組が多くあったため、目標値の見直しや新しい生活様式に沿った取組等を検討していく必要がある。 令和3年度には、策定した計画に沿って取組が実施されているかを高齢者対策協議会において報告し、審議いただく予定。											
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	THE TAIL OF SECTION OF	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	CO ON CINETAL MINISTER CONTRACTOR CANADA CONTRACTOR CON									
	行う。高齢者保健福祉計画は、3年間の計画	期間で、計	-福知山市高齢者対策協議会を上下半期に1回ずつの計2回開催し、計画の進捗状況管理を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
- 上ナマの知 晒 ひが	令和4年度に計画策定に向けた調査、令和5年度に次期計画の策定を行う。 令和3年度については、第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づき事業を実施していく。											
これまでの課題及び 今後の方向性												
 VI 二次評価	 (事業所属外による他部署評価	i)										
7,7,7,1,1												
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)									
_ VII 評価をふま '	えた次年度事業方針											
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容									
担当課の 事業の見直し			文章信录1-607									
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)									
VⅢ 予算反映:	結果											
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減									

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

事業コード 420217 款 03 民生費 項 01 社会福祉費 目 03 老人福祉費

事業名

事業担当

会計情報

施策体系

17 介護人材確保対策事業

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

施策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

会計 01 一般会計 決算付属資料

計画期間	開始年度 平成25年度	終了予定年度 令和2年度	関連計画名	第8次高齢	者保健福祉計画					
根拠法令等	事業概要に記載									
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業 🗸 市単	鱼独事業 □ 内	部庶務的事	業 口 その他 ()			
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/化	継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合								
関連事業	<u>外国人等介護職員雇用</u> 护	·国人等介護職員雇用推進事業								
事業目的 (あるべき姿)	各種補助金の交付、一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会との連携、学生へのPRを通じ、介護人材の確保・育成・定着を図る									
対象者	市内介護職員等			対象者数	50	単位あたりコスト	44.8			
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指定管理	☑ 補助金交	付 口	その他()			
委託先•実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	(2)介護職員初任者研修 (3)実務者研修実施補助 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士実務者研修 (4)介護福祉士育成修学 る条例施行規則)	1)介護人材確保促進事業家賃補助金(UIターン家賃助成)(福知山市介護人材確保促進事業家賃補助金交付要綱) 2)介護職員初任者研修受講支援(初任者研修受講料補助金)(福知山市介護職員初任者研修受講支援事業実施要綱) 3)実務者研修実施補助金 ・介護職員実務者研修実施に係る支援(負担金) ・介護福祉士実務者研修受講料補助金(福知山市介護福祉士実務者研修受講料補助金交付要綱) 4)介護福祉士育成修学資金貸付(福知山市介護福祉士育成修学資金の貸与に関する条例、福知山市介護福祉士育成修学資金の貸与に関す 5条例施行規則) 2.一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会と共催で介護・福祉についてのPR事業を実施(介護の日週間)→R2年度はコロナにより中								
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容					
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載									

二次公表時記載

|| 予質執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	₹)	F	3(本年度	₹)	R4	(要求年)	变)		
	1	当初予算			11,179			10,986			14,074					
予	2	補正予算			7,230			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0					
,	小計	+(① ~ ③)		18,409				10,986			14,074	7·3.	「編成時 次公表	記人 _集)		
予	1	一般財源			207			208			208	(0	<u> </u>	7		
算 財	2	国支出金			0		0				0					
斯源	3	府支出金			3,000			0			0					
内	4	地方債			0			0			0					
訳	⑤	その他特財			15,202			10,778			13,866					
#	1	流充用額			0		二次公	〉表時記載			0			C		
決算情報	2	配当予算			18,409			10,986			0			C		
情報	3	執行額			16,115		二次公	〉表時記載			0			C		
ŦX		執行率			87.5%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.40	/	0.00	0.28	/	0.00	0.28	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		3,200				2,240			2,240			C		
		マルコスト f額+概算人件費)			19,315			2,240			2,240			C		

IV 業績指標

成果実績	指	指標		H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	制度利用者数		人	53 / 81	62	/	90	41	/	105	/	105	105
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	大学・専門学校等語	访問、PR書類送付	校	46 / 45	62	/	45	65	/	45	/	45	45
(アウトプット)		単位あたり	コスト	148.5		259.9							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•						

	事業担当所属内による自己		50 /T - 100 +
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・介護人材不足は1事業所の問題ではなく社会的な課題である。市民への必要なサービス
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施すること	<i>o</i> O	提供に支障をきたすこともあり、市として関与すべき課題である。 ・補助制度利用者は年々増加しており、介護人材確保施策としての必要性が高い。
必安ほ	できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		・介護人材確保支援策は近隣他市と比較しても同内容・同水準のものが多く、今後も本市の 人材確保のためには同様に進めていく必要がある。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		介護人材確保により必要なサービスが提供できる。また雇用創出、地域内経済循環への貢献もある。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	こうない ま	外からの介護人材の呼び込みに役立っている。
			たがらの方度スペのようとなっている。 し、福知山市内の施設職員割合もその半数以上となっており、職員のキャリアアップにおいて
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
これまでの課題及び 今後の方向性	護人材確保にかかる施策に取り組む必	要がある。 こ取り組んでし	込まれる中、不足する介護職員の確保は喫緊の重要課題である。今後も引き続き市として介 、必要があり、訪問対象校の検討や民間施設連絡協議会と連携して新たな取組の検討など 基づき事業を実施していく。
	<u> </u> [事業所属外による他部署評	(年)	
	ず末川両川による心中名の		
事後評価コメント		争录	京評価実施後に記載(対象事業のみ)
<u>V∥ 評</u> 価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映線	 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

	15 高齢者世帯見守り事業														
事業名	15 高齢者	世帯見守り	事業	ŧ											
事業担当	所属	15030000	福祉	上保健部	高齢者	福祉語	課				所属	長 荒賀 正	Ż		
会計情報	事業コード	420215	款	03 民生	費	項	01 社:	会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	策⊐ード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する													
計画期間	開始年度														
根拠法令等															
事業区分	□ 法定受	託事務		国府補助	力事業	Ø	市単独	虫事業 [〕内	部庶務的事業 口 そ	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃」	上/伊	木止 [□ 他事	業へ約	充合	□ 他事	業を	統合	•	•			
関連事業				•	•						•	•	•		

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	高齢者のみ世帯や一人	暮らし高齢者世帯を	F事業対象者として民 <u>な</u>	E児童委員に訪	問していただき、対	象者の社会参加促進	、孤立防止につなげる。
対象者	市内の高齢者のみ世帯	及び一人暮らし高齢	令者世帯	対象者数	12,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	□ 直接実施 □ 業	務委託 口指	定管理 🗆 補助金	交付 ☑	その他 (配	記布物品が購入し、民 <u>生</u>	生児童委員にて配布)
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・対象者:高齢者のみ世 ・実施方法: 民生児童委					のきっかけとなるチラシ	ヶを渡していただく。
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	上次公表時記	載		

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 1	R1(評価前年	年度)	R	2(評価年度	:)	R	3(本年度)		R4	(要求年)	隻)
	1	当初予算		1,930			1,497			1,408			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0		. A= -1- a+ .	
,	/s計	+(① ~ ③)		1,930			1,497			1,408	尹 身 (3	[編成時] 次公表E	記人 ま)
予	1	一般財源		1,930			1,497			1,408	,,,	<u> </u>	"
	2	国支出金		0			0			0			
算財源	3	府支出金		0			0			0			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	⑤	その他特財		0			0			0			
決	1	流充用額		0		二次公	表時記載			0			0
算	2	配当予算		1,930			1,497			0			0
情報	3	執行額		1,181		二次公	表時記載			0			0
¥		執行率		61.2%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08 /	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	640			·-	800			800			0
		アルコスト (預・概算人件費)		1,821			800			800			0

Ⅳ 業績指標

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	集約型事業参	加者増加数	人	0	48	/	100	0	/	100	/		100
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	物品・チラシ配	布数	世帯	0	7600	/	7600	7500	/	7500	/	7500	7500
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.2							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

(単位:千円)

項		. 6T 1W (● 素 担 当 所 禹 内による目 亡る 評価の観点	評価	評価の理由
				и пи	高齢者の孤立が社会的問題となっており、一人暮らし高齢者世帯の孤立防止を図るために
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		必要な手段である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		対象世帯当たりのコストは妥当な水準である。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		てニンナキュムルー 年外刊 古 世 糸 加 来 杉 単二 フャ じ カム 糸 加 に つか ギュブ レフ
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		チラシをきっかけに集約型事業参加者が増えるなど、社会参加につながっている。 令和2年度は健康維持のため家庭でできる体操を紹介するチラシを配布し、喜んでいただい た。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			·先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
					民生児童委員の訪問活動のきっかけとなっている、というアンケート結果が出ているため、効 ナウイルス感染症のため、集約型事業への参加を呼び掛けていない。
事業0	N F1 66	175.7 °C			
指標等の対する	り達成	状況に			
יסי לנית.) ET IM			
			令和3年1月に実施した民生児童委員への	アンケートカ	いら得られた意見を参考に、令和4年度以降の事業の方向性を検討する必要がある。
-4-	· ~ ==	育 マルック			
これまで 今後	の方				
\\ VI	二次	評価(事業所属外による他部署評価	西)	
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
				-	
事後評	半価コ	メント		争身	性評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 🛊	評価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	当課の	ס			
	の見i 及び	直し			予算編成に記入
	要求	方針			(3次公表時)
VIII -	予算	反映紀			
	反映網		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r#	人吹	чж	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 4 1/1/11/12														
事業名	14 介護者	支援事業												
事業担当	所属	15030000	福祉保健部	ふ 高齢さ	者福祉課				所属县	荒賀 正之	<u> </u>			
会計情報	事業コード	420214	款 03 民生	E費	項 01 社	会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	j	頁	
施策体系	施策コード	策コード 050502 施策名 高齢者の生活を支援する												
計画期間	開始年度													
根拠法令等	福知山市	生宅高齢者	介護者支援	金支給	要綱									
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単	虫事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	の他	()		
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	事業へ統合	□ 他事業	を糸	·····································	<u> </u>					
関連事業														

∥ 事業基礎∥	青報							
事業目的 (あるべき姿)	在宅の要介護高齢者の介	↑護者を支援するこ	とにより、在宅高齢者	福祉の向上を	꾀る.			
対象者	要介護4以上の要介護高	齢者を介護している	家族	対象者数	430	単位あたりコスト	4.3	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指定	≧管理 □ 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	在宅の要介護4以上の要	介護高齢者を介護	する介護者へ支援金統	给付(3万円/年	.非課税世帯のみ〉を≨	合付した。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	}		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	·載			

|| 予算執行状況

<u> </u>	Z	了 昇 靱 仃 征	R1 (評価前:	年度)	R2	2(評価年度	')	R	3(本年度)	R4	(要求年)	変)
	_	当初予算	121 12 13	2,530			1,800			1,800			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	Au	- ^=	
,	小計	·(①~③)		2,530			1,800			1,800		「編成時 次公表	
₹	1	一般財源		2,530			1,800			1,800	,,,	<u> </u>	N /
算	2	国支出金		0			0			0			
算財源	3	府支出金		0			0			0			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	⑤	その他特財		0			0			0			
決	1	流充用額		0		二次公	表時記載			0			0
算		配当予算		2,530			1,800			0			0
情報	3	執行額		1,350			表時記載			0			0
TIA.		執行率		53.4%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10 /	0.00	0.20	/	0.10	0.20	/	0.10	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	800				1,850			1,850			0
		スルコスト f額+概算人件費)		2,150			1,850			1,850			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	介護者支援金	受給者数	人	56/45	44	/	45	50	/	45	/	50	45
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	広報ふくちやま・	広報カード回数	口	4/4	4	/	4	4	/	4	/	4	4
(アウトプット)		単位あたり	コスト	444.3		337.5							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

	事業担当所属内による自己評		经在小 型中
項目	評価の観点	評価	評価の理由 介護者支援のあり方検討会議を開催し、介護者ニーズの把握により、今後の方向性と必要
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		対談有文法ののデカス級を開催し、介護有二一人の化歴により、予後の方向はこの安性を確認した。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		平成29年度から、介護者、要介護者がともに非課税世帯であることを対象要件とし、年2回、 基準日を設定することでコスト削減を行っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		事業の特性から成果を数値化するのは困難である。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		事未切付はかり成本で数値化するのは色粧である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	介護者の支援については、多岐にわたって 【定性的評価】	いることと、	対象者の把握が難しいため、成果指標の設定が難しい。達成状況について、評価しがたい。
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	 平成30年度から実施していた在宅介護アド	バイザー派	遺事業を今年度から家族介護者支援事業に統合。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
	 えた次年度事業方針		
411 1 m 6 12, 97	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
//// 又質に吐	 		
_ VIII 予算反映系 	た 未 □ 現状維持 □ 廃止/休止		算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 枕が椎持 □ 廃止/ 休止 □ 使事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

爭業偶性														
事業名	13 老人保	護措置事業	ŧ											
事業担当	所属	15030000	福祉保	健部 高齢	者福祉	課				所属:	長 荒賀 正之	-		
会計情報	事業コード	420213	款 03	民生費	項	01 社会	会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	050502	施策	名 高齢者	の生活	を支援	する							
計画期間	開始年度	台年度 平成元年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名												
根拠法令等	福知山市	老人ホーム	入所措	置等に関す	る規則									
事業区分	□ 法定受	託事務	□国	府補助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内	部庶務的事業 🛘 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃.	上/休山	上 □他	事業へ	統合	□ 他事業	を約	充合					
関連事業														
	青報													
	経済的·環	境的な理由	等に。	り、在宅で	生活して	ていくこ	ヒが困難なる	高齢	者を養護老人ホームに	:措置し	、必要な援助る	を行う。		
事業目的														

事業目的 (あるべき姿)	経済的・環境的な理由等(により、在宅で生活し	ていくことが困難なる	高齢者を養護者	を人ホームに措置し、	必要な援助を行う。		
対象者	在宅生活困難な高齢者			対象者数	3,000	単位あたりコスト	1.1	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定管	管理 □ 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	入所判定委員会を経て、 ■R3年3月末時点措置者		措置を行う。					
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	容		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	·載			

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	3(本年度	₹)	R	(要求年)	支)
	1	当初予算			146,911			140,183			136,030			
予	2	補正予算			Δ 16,180			△ 8,300			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TT AI	- ^=	
,	小計	h(1)~(3)			130,731			131,883			136,030		「編成時 次公表	
₹	1	一般財源			110,844			115,593			112,051	,,	X X X X	47
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
泥	⑤	その他特財			19,887			24,590			23,979			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			130,731			131,883			0			0
情報	3	執行額			129,410		二次公	公表時記載			0			0
ŦX	4	執行率			99.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26	/	0.00	0.43	/	0.00	0.43	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,080				3,440			3,440			0
		マルコスト デ額+概算人件費)			131,490			3,440			3,440			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	入所者数		人	65/ 70	65	/	70	66	/	70	/	70	70
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	入所判定委員	会の回数	口	2/4	2	/	4	2	/	4	/	4	4
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	67590.0		64705.1							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

· 項		<u> </u>	事 米 担 ヨ // (高 / Nによる日 しず 評価の観点	評価	評価の理由
-		<u> </u>	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		家庭環境や経済的な事情により、在宅生活が困難な高齢者に安心して生活できる場所や
			事業か		サービスを提供するためには支援が必要である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		事業費の算定基準に沿って実施しており、経費については十分検討している。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		入所措置を行うことで心身の健康の保持及び生活の安定を図れている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			居宅での生活を継続していくことが困難なる	と人に対し、	入所措置を行うことで心身の健康の保持及び生活の安定を図れている。
事業(指標等(
対する					
					あり、相談・支援体制との連携のもと、適切な入所判定により、限られた入所定員のもとで緊 がある。また、利用料滞納者からの滞納料金の回収が課題である。今後も引き続き入所申
			請者及び入所待機者への調査を継続して乳	実施していく	とともに、債権の回収を図り、適正な運営に努めていく。
これまで					
今後	の方	可性			
VI .	二次	評価(事業所属外による他部署評価	6)	
事後記	呼価コ	メント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
					<u>, </u>
VII 3	評価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課の見				
	及び				予算編成に記入 (3次公表時)
で昇	要求	力對			(3/(4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/4/
VIII	予算	反映約			
予算	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 10老人クラブ連合会活動事業

(単位:千円)

争来担当	所禹	15030000	倫仙保健 問	11 局斷石	備祉詸					所属:	支 荒質 止之	÷		
会計情報	事業コード	420210	款 03 民	主費	項 01 社	t会福祉費	目	03 老人福	祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	050501	施策名	高齢者の	生きがいる	を創出する								
計画期間	開始年度	平成元年	度 終了予	定年度	令和2年度	関連計画	画名	第8次福知	山市高齢	者保健福	祉計画			
根拠法令等	福知山市和	老人クラブ選	自合会補助	金交付要	綱									
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	☑ 市単	.独事業 [〕内	部庶務的事	業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事	業を終	充合						
関連事業	老人クラブテ	舌動費補助	<u>事業</u>											
	 青報													
事業目的 (あるべき姿)		・奉仕を活覧 福祉、高齢				動」や「安心	安全	なまちづくり	りを積極的	に展開し	ている老人ク	ラブ連合会の	舌動を支援する	5=
対象者	市内高齢	者					- :	対象者数	23,	000	単位あたり	リコスト	0.1	
実施方法	□ 直接実	施 🗷	業務委託	口指	旨定管理	☑ 補助:	金交	付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等		ナンサービス												
事業概要 (箇条書き)		1互支援推進)研修バス運		、地域福祉	业活動等を	展開している	5老人	人クラブ連合	合会に対して	(補助金	を交付			
	支出に係	系る主な費目	支出	実績(R2)					主	な業務内	容			
主な支出に係る 業務内容と経費							- vh	八主吐和	44 :					

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	₹3(本年度	!)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			5,100			5,106			6,183			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		-	
,	小計	+(① ~ ③)			5,100			5,106			6,183		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			4,265			3,847			4,950	,,	·>(N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			835			1,259			1,233			
内	4	地方債			0			0			0			
別	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次位	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			5,100			5,106			0			0
惰報	3	執行額			5,053		二次位	公表時記載			0			0
ř		執行率			99.1%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,240				2,160			2,160			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			7,293			2,160			2,160			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	相互支援実施	クラブ数	団体	57 / 100	52	/	100	37	/	100	/	100	100
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	相互支援連絡	会の開催		2 / 2	2	/	2	2	/	2	/		2
(アウトプット)		単位あたり	コスト	2403.5		2526.6							
実績/計画	連絡会における	市の取組啓発	回	1 / 2	0	/	2	0	/	2	/	2	2
		単位あたり	コスト	4807.0									

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己評		String of the st
項目	評価の観点	評価	評価の理由 地域短述の推進を図るためには、またづくりを進わるなりたる団体への支援は必要である。
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	地域福祉の推進を図るためには、まちづくりを進める核となる団体への支援は必要である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		老人クラブ連合会への支援を継続していく上で、地域福祉の推進がどの程度図れているか 検証し、より効率的に支援をしていく必要がある。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	Δ	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		女! ケーゴ 本人人 (ナナウのか) 女! ケーゴの (本乳ナタ) ナニ・より (本乳 和歌) (- 内にてか)
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		老人クラブ連合会は市内の加入老人クラブの活動方針を示したり、活動相談に応じるなどして単位クラブの活動を支援しており、地域における高齢者支援活動、見守り活動、生きがいづくり、交流などを推進する上で老人クラブ連合会への支援は有効である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は	0	
	十分行われたか		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	さらなる地域福祉の推進に向けた方策を検討	対する。連1 いく必要が	と考えるが、客観的な指標を今後検討することも必要と考え、連合会事務局と協議しながら、合会会員は微減しているが、地域福祉の他にも交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協 ある。なお令和2年度の相互支援実施クラブの減少は、新型コロナウイルス感染症によるも 必要性について検討する必要がある。
	近年老人カラブの会員が減小し 優歩カニブ	がたヵにキ	曽えているが、老人クラブ連合会は、老人クラブへの研修実施やスポーツ大会等の企画・開
これまでの課題及び 今後の方向性	催を通じ、老人クラブの活性化を目的に活動	を行ってい の円滑な事	る。また、交通安全啓発や市の各種啓発事業等にも協力いただいていることから、その貢献 業運営への支援を行っていく必要がある。補助のあり方については、事業内容や事業効果
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映網	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 109 老人クラブ活動費補助事業

(単位:千円)

事業担当	所属 15030000 福祉	止保健部 高齢者福祉	上課				所属長	荒賀 正之	_	
会計情報	事業コード 420209 款	03 民生費 項	01 社会福祉	費目	03 老人福	祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料	
施策体系	施策コード 050501 が	施策名 高齢者の生き	きがいを創出す	る						
計画期間	開始年度 平成元年度	終了予定年度 令和	口2年度 関連	計画名	第8次福知	山市高齢者	5保健福	祉計画		
根拠法令等	福知山市老人クラブ活動	費補助金交付要綱								
事業区分	□ 法定受託事務 🗸	国府補助事業 🗆	〕市単独事業	口内部	部庶務的事	業 口 その	の他	(
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/	休止 □ 他事業へ	·統合 □ 他	事業を約	 行					
関連事業	老人クラブ連合会活動事	<u>業</u>								
── 事業基礎付	 青報									
事業目的 (あるべき姿)	各地域において活動して の推進を図る。	いる老人クラブの活動	协を支援し、円洋	骨な事業	実施を図る。	。地域の生	きがいづ	くりや健康づく	(り、介護予防?	5動等、地域福
対象者	市内高齢者			7	付象者数	23,0	000	単位あたり	リコスト	0.1
実施方法	□ 直接実施 □ 業	務委託 □ 指定管	管理 🛭 補	助金交付	t 🗆	その他	(
委託先·実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	生きがいづくりや健康づく・令和3年度より、単位クラ							寸する 。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)				主な	な業務内	容		
主な支出に係る 業務内容と経費				二次	公表時記	載				

_____ Ⅲ 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 1	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	8,22	7,472	6,896	
予	2	補正予算		0	0	
算情	3	繰越予算		0	0	
報		前年度繰越		0	0	
		次年度繰越		0	0	T Air Air - And - And -
,	小計	+(① ~ ③)	8,22	7,472	6,896	予算編成時記入 (3次公表時)
₹	1	一般財源	2,82	2,491	1,940	(00(121)
算	2	国支出金		0	0	
算財源	3	府支出金	5,40	4,981	4,956	
内	4	地方債		0	0	
訳	⑤	その他特財		0	0	
*	1	流充用額		二次公表時記載	0	0
決算		配当予算	8,22	7,472	0	0
情報	3	執行額	7,56	二次公表時記載	0	0
+HX		執行率	92.0	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23 / 0.00	0.17 / 0.00	0.17 / 0.00	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	1,840	1,360	1,360	0
		スルコスト	9,40	1,360	1,360	0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	老人クラブ会員	員数	人	7,268 /7,500	6519	/	7000	6045	/	6500	/	6500	6500
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	出前講座	_		1 / 10	0	/	10	0	/	10	/	10	10
(アウトプット)		単位あたり	コスト	7415.0									
実績/計画	普及啓発事業	利用(H29~)		27 / 20	25	/	20	1	/	20	/	30	20
		単位あたり	コスト	274.6		302.6	•						

▽ 一	日	★ 乗 担 当 所 禹 内による日 評価の観点	評価	評価の理由
				生きがい・健康・地域づくりに貢献している老人クラブ活動への支援は必要である。
		·市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		
必多	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	٥ ا	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	•	
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		年間事業費のうち、補助金の占める割合は平均で20%を下回っており、支援の割合として は妥当と考える。
勃፮	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		地域における高齢者支援活動・見守り活動・生きがいづくり・地域交流活動が適切に実施さ
		・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	יווכ	ためにおいる同間では又張石助 たりり石助 エミかい・ハッ ため又加石助が、種切に失心にれている。
有效	物性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	12	
		要であり、その活動を支援していくこと	は高齢者福祉の	づくり、健康づくり等の活動を行う高齢者の自主的な組織である単位老人クラブの活動は重 増進という観点において有意義である。 長まっての活動を自粛する老人クラブが多く、活動実績がほとんどない。
	目的及び 達成状況に			
対する定	性的評価			
				ーション、スポーツ、清掃活動などの生きがいづくり、健康づくり等の活動を行う単位老人クラ 高齢者と地域社会の交流、健康の増進、活動への参加による認知症予防などに大きく寄与し
		ていることから、令和3年度の変更内容 令和3年度については、第9次高齢者・		『ら補助のあり方について検討を行う。 基づき事業を実施していく。
	D課題及び)方向性			
<u></u>	次評価((事業所属外による他部署)	評価)	
事後評価	面コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評	価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	課の			
及	見直しない			予算編成に記入
予算要	·求方針			(3次公表時)
 VⅢ 予	算反映	L		
		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反	映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 108 敬老事業 | 108 敬老事業 | 108 敬老事業

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

事業担当

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

会計情報	事業コード	420208	款 03 民生	費	項 01 社会	会福祉費	目	03 老人福	祉費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード 0	50501	施策名	高齢者の	生きがいを	創出する								
計画期間	開始年度	平成元年	度 終了予	定年度	令和3年度	関連計画	i名							
根拠法令等	福知山市敬	老会補助的	金交付要綱											
事業区分	□ 法定受訊	£ 事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単独	事業 口	内部	部庶務的事	業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	L/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を約	 行						
関連事業														
── 事業基礎性	青報													
事業目的 (あるべき姿)		主催者に対	けして支援	を行 う 。ま	た、80歳(傘						导を祝うことを 目 身)を迎える長∮			
対象者	70歳以上の	高齢者					3	付象者数	14,9	948	単位あたり	リコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施	t 🗆	業務委託	口指	定管理	☑ 補助金	交付	d □	その他	()
委託先•実施主体等														
事業概要 (箇条書き)	·市内最高齢	命者•99歳	(白寿)、90	歳(卒寿)	敬老会の主 、88歳(米寿 100歳には書)及び80歳	(傘			を贈呈し	ン、長寿をお祝	いする。		
	支出に係る	る主な費目	支出	実績(R2)					主な	な業務内	容			
主な支出に係る 業務内容と経費						=	二次·	公表時記	載					

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年	隻)
	1	当初予算			20,049			20,181			21,048			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			
-	小計	h(①~③)			20,049			20,181			21,048		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			20,049			20,181			21,048	,,,	<i></i>	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
影	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			△ 122		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			19,927			20,181			0			0
情 報	3	執行額			18,464		二次位	公表時記載			0			0
ĦX.	4	執行率			92.7%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.26	/	0.00	0.26	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,840				2,080			2,080			0
		タルコスト (20,304			2,080			2,080			0

	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)						1/1			112		110	_	
(アウトカム)	敬老会参加率		%	36 / 50	31	/	50	-	/	50	/	50	50
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	市長来賓出席	(代理含む)	□	37 / 41	35	/	36	-	/	36	36		36
(アウトプット)		単位あたり	コスト	481.8		527.5							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•						

□ Ⅴ 一次評価(、争 耒 担 当 所 禹 内 による目 □ ē 評価の観点	データー 評価	評価の理由
ж н	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	A1 104	長寿を祝うという趣旨や地域行事として必要性が高い。自治会等の運営費用だけでは実施
必要性	事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		することは難しいため、必要性は高い。 令和2年度においては、新型コロナ感染症の拡大に伴い、敬老会を中止にせざるを得ない 自治会が多かった。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		祝行事であり、地域でも主催者が一定の負担をしている状況である。ただし、高齢社会に伴い、年齢水準を上げる検討の余地はある。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		市のほぼ全ての地域で敬老会は継続して開催されており、長寿を祝うこと、敬老会の開催
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		支援については達成できている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	敬老会の運営費の一部を補助することで、 また、市長による最高齢者訪問等の実施!		:会が円滑に実施されている。 の方々への感謝と敬意を表すことができていると考える。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	敬老精神の涵養という観点から敬老事業 敬老会については、令和元年度に実施した。		の開催以外への支援も検討していく。 催者へのアンケート結果を踏まえて令和3年度対象年齢の変更について検討する。
これまでの課題及び 今後の方向性			
·	(事業所属外による他部署評値	赿)	
		-	
事後評価コメント		學第	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
AT AV AMILIO	方針区分	_	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			予算編成に記入
予算要求方針 			(3次公表時)
VⅢ 予算反映;	 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了异以吹和米	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 07 外出支援助成事業 |

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

事業担当

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

327111111	施策コード 開始年度		施策名	立齢者の	エマナナ 面	_ 7							
計画期間	開始年度			回图にはい	生活を文援	する							
		平成12年	度 終了予	定年度	令和3年度	関連計画	名						
根拠法令等 社	福知山市在	生宅高齢者	外出支援與	加成事業実	施要綱								
事業区分 [□ 法定受	:託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単独	事業 口	内部庶務的事	薬業 □ その	の他()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事業	業へ統合	□ 他事業	を統合						
関連事業													
事業基礎情	報												
		「ることが困 怪減を図る。		高齢者の外	出を支援す	ることにより	、本人の社会	参加を促進	し、また在	宅介護にあたつ ⁻	いる家族	等の精神的	• 経
対象者	在宅高齢者						対象者数	42	20	単位あたりコス	7	4.0	
実施方法	☑ 直接実	施	業務委託	□指	定管理	□ 補助金	交付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等													
2	2、要介護 ·助成額∶4 ·利用可能	1について 8,000円(50 なタクシー ::(R2年度。	は認定調査 00円券×96 事業所等数 より)利用金	等の内容 6枚)/年 は:タクシー 金額に応じ	によって審査 事業所等11 て利用枚数を	၍。毎年2回 事業所、NF を制限する。	《困難な在宅》 『更新審査を』 『O法人等6法』 でで2枚、2,00	実施する。 人		護認定をお持ち 女、…	で、要支援	2以上。要3	支援
	支出に係	系る主な費目	支出	実績(R2)				主力	な業務内容	}			
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表時記	動					

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	:)	R4	(要求年月	隻)
	1	当初予算			9,163			11,586			9,604			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	₩ 40	· 公司 - 計 (1土 (27.7
,	小計	h(①~③)			9,163			11,586			9,604		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			9,163			11,586			9,604	,,,	<i></i>	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			9,163			11,586			0			0
惰報	3	執行額			7,987		二次公	公表時記載			0			0
1111	4	執行率			87.2%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,840				1,680			1,680			0
		タルコスト (9,827			1,680			1,680			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	利用率		%	40 / 60	40	/	60	43	/	60	/	60	60
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	利用者数	_	人	409 / 450	393	/	450	376	/	450	/	450	450
活動実績(アウトプット)		単位あたり:	コスト	20.0		20.3							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•						

項			、争 耒 担 当 所 偶 内 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		高齢者の運転免許返納等の問題や、公共交通機関が利用できない地域に住む対象者もい
			事業か		ることで、今後ニーズは高くなると考えられる。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		利用者の要件を平成27.28年に見直し、また、利用方法を令和2年度より見直しなど、事業の 適正・効率化を図った。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢者の移動手段の確保という課題に対し、有効と考える。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	100	
			ど、客観的な判断基準を設けている。また、	行き先の制	市民税非課税世帯かつ原則要支援2以上の者で、審査基準に認定調査結果を取り入れるな限を撤廃することで、高齢者の外出を促す効果もあり、介護予防という点でも制度の適正化、、遠距離でタクシー等の料金が高額になる方への負担軽減を図っている。
事業の 指標等の 対する)達成	状況に			
			 利用方法の見直しにより利用率の改善が図 	られるか、	調査する。
これまで 今後	の課 の方				
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後許	平価コ	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII ≹	评佃	きふま	 えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	当課	o			
	の見 及び				予算編成に記入
	要求				(3次公表時)
\ /III -:	名谷	- E mb 4	計		
		反映	た 未 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算	反映	結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

事業担当

01 利用者負担額軽減措置事業

所属 15030000 福祉保健部 高齢者福祉課

(単位:千円)

所属長 荒賀 正之

会計情報	事業コード	420201	款 03 民	生費	項 01 社会	会福祉費	目	03 老人福	祉費	会計	01 一般会	決算付	属資料		頁
施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の	生活を支援	する									
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	5定年度 名	內和3年度	関連計画	名								
根拠法令等	介護保険	去													
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府初	助事業	□ 市単独	由事業 □	内部	部庶務的事	業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	」 □ 廃.	止/休止	□ 他事業	へ統合	□ 他事業	を制	充合							
関連事業															
── 事業基礎性	青報														
事業目的 (あるべき姿)		担が困難な 比法人軽減、			个護保険の	サービスを	安心	して利用で	きるように	する。					
対象者	社会福祉	法人軽減、	雛島等地域	找軽減確認 ፤	正の発行者		3	対象者数	19	8	単位あ	たりコスト		4.4	
実施方法	☑ 直接実	₹施 □	業務委託	口指:	定管理	☑ 補助金	交值	寸 □	その他	()
委託先•実施主体等															
事業概要 (箇条書き)	(社会福祉 負担、食費 (離島等地	L法人軽減) 費、居住費σ	生活保護 025%を軽 15%の特別	受給者は、 減。 別地域加算	個室の居(をされた介	護報酬につ	利用	者負担を1	00%軽減。	生活保		外は、サー	ービス利	用に係る利	用者
	支出に係	系る主な費目	支出	実績(R2)					主な	な業務内	容				
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次	公表時記	載						

__ Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年度	₹)	F	3(本年度	()	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			3,187			3,908			3,619			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	~ M		6 0. 2
-	小計	h(①~③)			3,187			3,908			3,619		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			877			977			905	,,	<i></i>	.47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			2,310			2,931			2,714			
内	4	地方債			0			0			0			
影	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			122		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,309			3,908			0			0
惰報	3	執行額			3,309		二次化	公表時記載			0			0
ĦX.	4	執行率			100.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.11	/	0.00	0.11	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		800				880			880			0
卜一 (予算	— /	マルコスト (新年概算人件費)			4,109			880			880			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	利用割合(実軽減者数	女/軽減証交付者数)	率	148/206	142/201	/	0	154	/	201	/	203	0
実績/目標		0		0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	サービス種類		数	8/17	10	/	17	9	/	17	/	17	0
(アウトプット)		単位あたり	コスト	419.9		330.9							
実績/計画				0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

項		<u> </u>	事 条 担 当 所 偶 内 に よら目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
		<u></u>	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		保険者(市)の必須業務として国制度に準拠し、実施している。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助金の割合は、国制度により規定されており、利用者負担も国の実施要領で規定されている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		生活保護受給者や低所得者が必要な支援を受けることができるため、有効な手段である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		サミル(日共4人にご信主体ル) ガモ4人共100人のユードラナウン マエロナフェルパデオア
					生計が困難な低所得者等が、必要な介護保険のサービスを安心して利用することができて実施する旨の申出がなされており、利用にあたっての環境整備が図られているところは評価
事業の 指標等の					
対する					
			引き続き、社会福祉法人の協力を得て、事業	業を継続して	ていく。
これまで 今後					
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評価	i)	
事後評	· —	dr.L		車機	評価実施後に記載(対象事業のみ)
争议的	глщ⊸	ノント		李未	計画大心後に記載(対象手来のの)
 VII	平価	きふま	 えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見る				予算編成に記入 (3次公表時)
予算	安水。	7 8 T			(OX A 3219)
VIII 3	予算	反映約			
予算。			□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)